

IV 下水道事業



「蔵王ポンプ場建設工事」

平成30年7月豪雨災害を受け、手城川流域における浸水対策として、蔵王ポンプ場建設工事に取り組んでいるところです。

ポンプ場は、地上3階、地下2階の鉄筋コンクリート造でポンプを4台設置し、1分間に約1,000トンの雨水を手城川に排水する施設で、2022年（令和4年）10月に着工しました。



「蔵王ポンプ場完成予想図」

1 公共下水道事業

(1) 計画面積及び人口

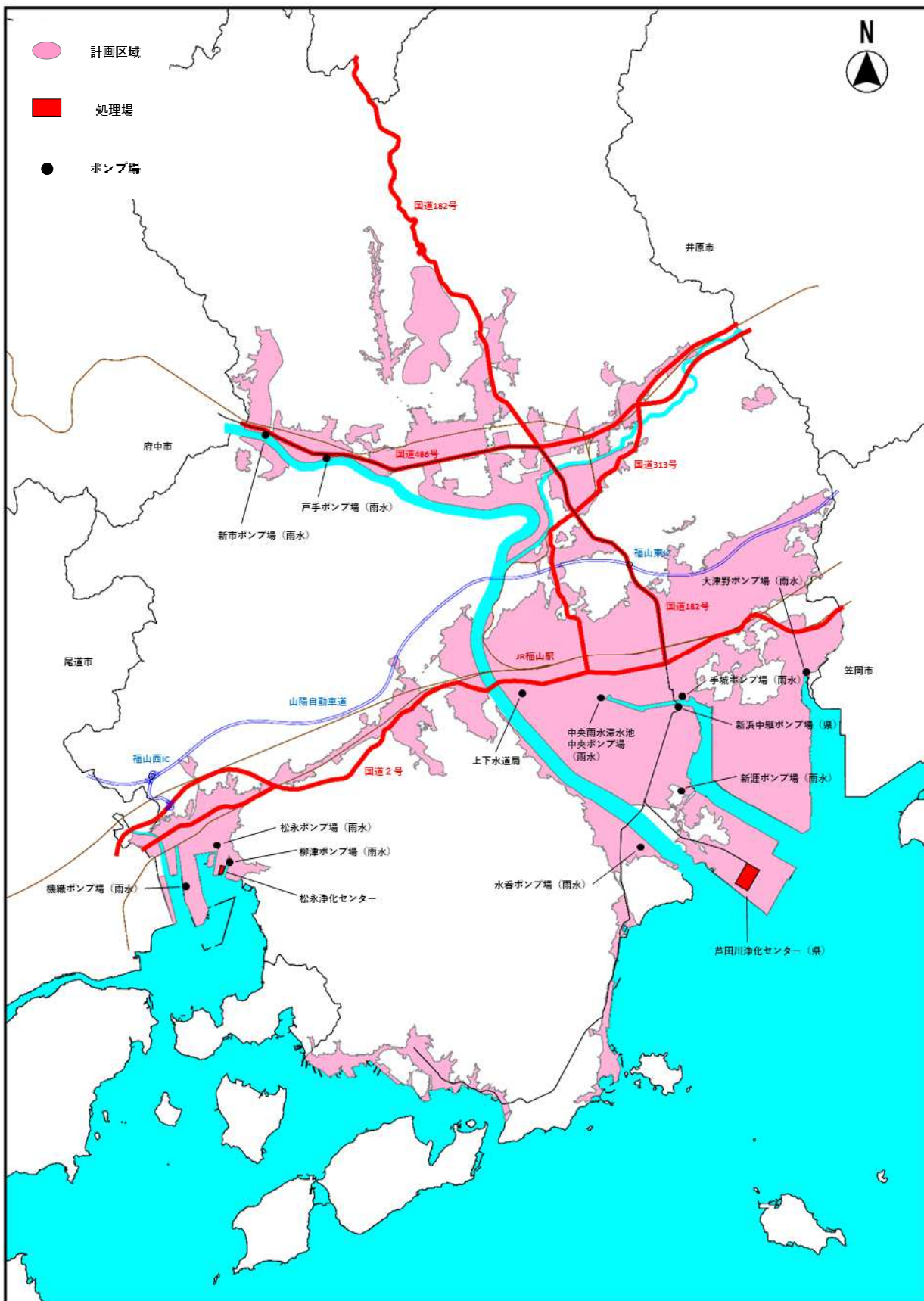
区分	処理区名	処理分区名	全体計画		事業計画		整備済 (2023年度末)	
			面積(ha)	人口(人)	面積(ha)	人口(人)	面積(ha)	人口(人)
単独 公共	松永処理区		689.1	29,290	627.2	28,310	575.0	26,153
流域 関連 公共 下水道	芦田川 処理区	戸手第3	140.3	3,400	140.3	3,950	126.6	3,439
		戸手第2	75.8	2,050	75.8	2,370	60.2	2,262
		戸手第1	43.1	1,110	43.1	1,270	30.2	1,205
		新市	197.1	5,220	197.1	6,070	169.0	4,293
		近田	153.8	6,210	153.8	6,430	152.5	6,522
		万能倉	495.4	15,620	432.8	16,250	312.8	13,780
		加茂	488.7	8,740	263.1	9,060	249.5	9,077
		中津原	456.6	20,320	456.6	21,050	439.7	19,888
		蔵王第2	880.9	45,690	806.0	47,310	747.3	44,238
		蔵王第1	346.9	16,370	346.9	16,950	319.7	15,638
		手城	1,918.6	38,260	986.5	39,650	801.3	37,527
		新涯南	57.3	3,830	57.3	3,970	56.6	3,934
		新涯第1	1,003.0	51,570	988.0	53,430	814.6	48,543
		箕島第2	34.6	820	34.6	850	29.9	888
		箕島第1	482.3	490	373.2	510	319.8	424
		水呑第2	80.6	4,120	80.6	4,270	79.7	4,426
		水呑第1	255.4	10,990	255.4	11,380	193.2	10,123
		田尻	50.4	1,890	50.4	1,950	38.1	1,530
		鞆	90.9	3,360	68.0	3,480	42.4	640
		新浜	1,313.7	73,000	1,306.8	75,590	1,283.4	71,936
		旧新浜処理区	806.1	53,420	806.1	55,310	806.1	52,799
		旧新浜・新涯第2	507.6	19,580	500.7	20,280	477.3	19,137
		常石草深	169.5	2,350	169.5	2,610	78.6	1,407
		新涯	55.9	1,520	55.9	1,700	47.7	1,581
		横引	27.5	420	27.5	470	25.1	506
		桜	17.3	270	17.3	300	17.3	280
		白浜	22.0	210	22.0	240	22.0	242
		能登原	13.5	150	13.5	170	13.4	163
		川北	407.0	15,850	352.2	15,130	302.6	14,118
		川南第2	131.8	4,030	131.8	3,820	-	-
		川南第1	92.9	4,050	92.9	3,840	90.3	3,572
小計	9,502.8	341,910	7,998.9	354,070	6,863.5	322,182		
合計	10,191.9	371,200	8,626.1	382,380	7,438.5	348,335		

※ 全体計画・事業計画には、服部地区農業集落排水施設分を含む。

※ 面積(ha)は小数第2位で計算し四捨五入。

(2) 全体計画区域図

2024年（令和6年）4月1日現在



(3) 事業計画等の経緯

ア 下水道法事業計画等(福山市単独公共)の経緯の概要

項目	認可又は協議承認 年月日	告示番号又は 広島県文書番号	告示又は変更内容		
			処理、排水区域 変更等	処理施設 変更等	ポンプ施設 変更等
単独当初	1951年11月13日	厚生省広衛 第209号	新浜処理区 処理区域152ha		
第1回変更	1964年3月6日	建設省広都 第53号	新浜処理区拡大(+159ha) 処理区域 計311ha	新浜処理場位置変更	
第2回変更	1971年6月30日	建設省広都 下公発 第4号ノ2	新浜処理区区域増(+495ha) 手城処理区追加(+2,777ha) 処理区域 計3,583ha		
第3回変更	1975年9月18日	建設省広都 下公発第7号		新浜処理場内容変更 凝沈追加	
第4回変更	1976年6月3日	建設省広都 下公発第3号	松永処理区追加 325ha 手城処理区削除 2,777ha 処理区域 計1,131ha		
第5回変更	1980年10月29日	建設省広都 下公発第9号		新浜処理場内容変更 加圧浮上・脱水機増設	
第6回変更	1986年8月29日	建設省広都 下公発第9号		松永浄化センター敷地面積変 更、新浜処理場・脱臭設備追 加	
第7回変更	1988年3月18日	建設省広都 下公発第3号	松永処理区拡大(+46ha) 処理区域 計1,177ha	松永浄化センター配置変更	相生ポンプ場追加
第8回変更	1990年3月23日	建設省広都 下公発第2号	松永処理区(柳津排水区) 雨水幹線ルート変更		柳津ポンプ場位置変更
第9回変更	1996年3月5日	建設省広都 下公発第5号	新浜処理区合流式下水道 改善計画		
第10回変更	1996年11月25日	建設省広都 下公発第25号	松永処理区拡大(+94ha) 松永機織排水区変更 処理区域 計 1,271ha		
第11回変更	1999年2月26日	建設省広都 下公発第5号	松永処理区拡大(+40ha) 処理区域 計 1,311ha		本郷川中継ポンプ場追加
第12回変更	2002年2月19日	国都下事 第599号	松永処理区拡大(+75ha) 松永処理区全体計画見直し	松永浄化センター能力変更	
第13回変更	2004年11月22日	国都下事 第309号		松永浄化センター汚泥濃縮設 備追加	
第14回変更	2007年9月6日	国都下事 第215号	松永処理区拡大(+22.9ha) 本郷排水区の追加 今津排水区の拡大		松永ポンプ場能力変更
第15回変更	2009年3月27日	国都下事 第487号	新浜処理区合流式下水道緊急 改善計画	新浜処理場敷地面積変更	中央雨水滞水池の追加
第16回変更	2012年3月19日	国水下事 第77-2号	松永処理区拡大(+36.4ha)		
第17回変更	2012年10月19日	下水第65号		脱水ケーキの固形燃料化を広 島県に事務委託	
第18回変更	2014年3月31日	下水第153号	新浜処理区 中央2号幹線の一部配置 (ルート)の変更及び中央2 号・中央5号幹線の能力変更		
第19回変更	2015年11月6日	下水第158号	新浜処理区を流域関連公共下 水道へ編入したことにより単 独公共下水道から削除	松永浄化センターの敷地面積 の変更 新浜処理場の削除	新浜処理区のポンプ施設 を削除
第20回変更	2018年2月27日	下水第240号	機織排水区の幹線断面変更 (機織1号雨水幹線)	松永浄化センター脱水機の機 種変更	松永ポンプ場(雨水)能 力変更
第21回変更	2020年3月25日	都環第397号			松永ポンプ場(雨水)の 用地拡大(+807㎡)
第22回変更	2022年2月1日	都環第600号	松永処理区縮小(△12.1ha)	松永浄化センター処理能力の 変更	

※ 2012年度(平成24年度)より事業認可制から協議制に移行。

イ 下水道法事業計画等(福山市流域関連)の経緯の概要

項目	認可又は協議承認 年月日	告示番号又は 広島県文書番号	告示又は変更内容	
			処理、排水区域 変更等	ポンプ施設 変更等
流開当初	1978年8月1日	広島県指令下 第50号	芦田川処理区認可 処理区域 1,470ha	
第1回変更	1984年5月2日	広島県指令下 第2号	芦田川処理区拡大 処理区域 1,596ha	
第2回変更	1985年4月22日	広島県指令下 第35号	芦田川処理区拡大 処理区域 1,919ha 管径変更	
第3回変更	1986年9月4日	広島県指令下 第26号	芦田川処理区拡大 手城排水区再編成 処理区域 2,060ha	
第4回変更	1988年4月22日	広島県指令下 第1号	芦田川処理区拡大 処理区域 2,263ha	神島中継ポンプ場位置変更
第5回変更	1989年5月26日	広島県指令下 第33号	芦田川処理区拡大 処理区域 3,080ha	神島中継ポンプ場位置変更
第6回変更	1990年3月13日	広島県指令下 第35号	山手幹線変更	
第7回変更	1992年2月12日	広島県指令下 第60号	芦田川処理区拡大 新涯第1、水呑分区分再編成、ポンプ場追加 処理区域 3,309.5ha	
第8回変更	1993年5月25日	広島県指令公 第19号	芦田川処理区拡大 万能倉処理分区分 処理区域 3,325.5ha	
第9回変更	1996年3月21日	広島県指令公 第138号	芦田川処理区拡大 新涯第2処理分区分を新涯処理分区分に合併 処理区域 4,150.0ha	新涯幹線及び三新田中継ポンプ場の削除、ポンプ場の追加
第10回変更	1997年3月21日	広島県指令公 第151号	山守排水区の森脇排水区との分割 処理区域 4,150.0ha	森脇ポンプ場の追加
第11回変更	1999年3月18日	広島県指令公 第158号	芦田川処理区拡大 水呑処理分区分の分割 処理区域 4,380.0ha	大門中継ポンプ場位置変更
第12回変更	2002年3月28日	広島県指令公 第142号	芦田川処理区拡大 曙北、曙南、新涯北、新涯南、唐樋の5排水区を新涯排水区に統合 処理区域 4,805.6ha	坪生中継ポンプ場及び新涯ポンプ場の追加
第13回変更	2004年11月2日	広島県指令 下水第55号	芦田川処理区拡大 新市町との合併 処理区域 5,452.2ha	水呑中継ポンプ場、瀬戸中継ポンプ場、明王台第1中継ポンプ場及び明王台第2中継ポンプ場の追加
第14回変更	2007年11月7日	広島県指令 下水第68号	芦田川処理区拡大 沼隈町・神辺町との合併 処理区域 6,593.0ha	
第15回変更	2009年3月19日	広島県指令 都整第201号	新市排水区の幹線変更 宮内雨水調整池の追加	大津野ポンプ場ポンプ台数変更
第16回変更	2012年3月22日	広島県指令 都環第104号	芦田川処理区拡大 処理区域 7,981.5ha	
第17回変更	2014年3月31日	下水第154号	中央2号幹線の一部配置(ルート)の変更及び中央2号・中央5号幹線の能力変更	
第18回変更	2018年2月27日	下水第242号	芦田川処理区拡大 処理区域 8,001.3ha	一ツ樋ポンプ場(雨水)ポンプ台数、能力変更
第19回変更	2020年3月25日	都環第396号	予定排水区域の拡大 予定排水区域 7,011.5ha	新涯ポンプ場(雨水)のポンプ台数変更、用地拡大(+853㎡)
第20回変更	2021年3月12日	都環第436号	予定排水区域の変更 川南第2処理分区分の幹線管渠の配置(ルート)の変更	蔵王ポンプ場(雨水)の追加
第21回変更	2022年2月1日	都環第599号	芦田川処理区縮小 処理区域 7,998.9ha 尾道市の一部を常石草深処理分区分に追加 手城処理分区分の一部を蔵王第2処理分区分へ変更	千田ポンプ場(雨水)及び森脇ポンプ場(雨水)のポンプ台数、能力変更

※ 2012年度(平成24年度)より事業認可制から協議制に移行。

(4) 計画事業費及び実績

(単位:百万円)

	管 渠	ポンプ場	処理場	総事業費
事 業 計 画	241,208	57,807	14,206	313,221
実績(2023年度末)	240,967	38,714	12,780	292,461
旧新浜処理区	25,054	6,776	2,613	34,443
松永処理区	27,265	6,055	10,167	43,487
芦田川処理区	188,648	25,883	-	214,531

※ 2014年度（平成26年度）より、旧新浜処理区は芦田川処理区へ編入したため、以降の旧新浜処理区の実績は、芦田川処理区に含まれる。

2 施設の概要

(1) 管渠延長

(単位: m)

汚水管			雨水管	合計
合流管	分流管	計		
162,221	1,701,369	1,863,590	44,201	1,907,791

(2) 処理場施設

	松永浄化センター
所 在 地	福山市柳津町一丁目10番1号
敷 地 面 積	31,025 m ²
処 理 方 法	標準活性汚泥法
排 除 方 式	分流式
運 転 開 始	1992年4月
事 業 期 間	1976年度～2026年度
事 業 費	14,206 百万円

	事 業 計 画	実 績 (2023年度末)
処 理 人 口	27,690 人 (28,310人)	26,153 人
処 理 面 積	610 ha (627.2ha)	575.0 ha
処 理 能 力	14,800 m ³ /日	7,400 m ³ /日
流 入 水 質	BOD 220 mg/ℓ	BOD 211 mg/ℓ
	SS 210 mg/ℓ	SS 153 mg/ℓ
放 流 水 質	SS 16 mg/ℓ	SS 3 mg/ℓ
	COD 30 mg/ℓ [最大値]	COD 17.6 mg/ℓ [最大値]
	COD 14 mg/ℓ [平均値]	COD 13.6 mg/ℓ [平均値]
	T-N 25 mg/ℓ	T-N 23.7 mg/ℓ
	T-P 1.4 mg/ℓ	T-P 0.7 mg/ℓ

※ 流入水質及び放流水質は、2023年度（令和5年度）の数値である。

※ () 内は、全体計画の数値で尾道市流入分を含む。

(3) ポンプ場施設

ア ポンプ場の全体計画、事業計画及び整備状況

区分	処理区	ポンプ場名	排除方式	全体計画			事業計画 (2026年度)				現況 (2023年度末)				
				ポンプ口径(mm) 能力(m ³ /分)	台数	内予備	揚水能力(m ³ /分)	ポンプ口径(mm) 能力(m ³ /分)	台数	内予備	揚水能力(m ³ /分)	ポンプ口径(mm) 能力(m ³ /分)	台数	内予備	揚水能力(m ³ /分)
汚水中継ポンプ場	芦田川	神島中継ポンプ場	分流	φ250 5.6	3	1	11.2	φ250 5.6	3	1	11.2	φ250 2.5	2		14.4
		大門中継ポンプ場	分流	φ200 4.1	2	1	4.1	φ200 4.1	2	1	9.6	φ200 5.5	1		5.5
		坪生中継ポンプ場	分流	φ150 2.3	3	1	4.6	φ150 2.3	3	1	4.6	φ300 10.5	1	1	
		相方汚水中継ポンプ場	分流	φ150 1.3	2	1	1.3	φ100 1.0 φ150 1.3	1 2	1	2.3	φ100 1.0 φ150 1.3	—		—
		瀬戸中継ポンプ場	分流	φ200 2.8	2	1	2.8	φ200 2.8	2	1	2.8	φ200 2.8	—		—
		明王台第1中継ポンプ場	分流	φ80 0.5	2	1	0.5	φ80 0.5	2	1	0.5	φ65 0.4	3	1	0.8
		明王台第2中継ポンプ場	分流	φ80 0.8	2	1	0.8	φ80 0.8	2	1	0.8	φ80 0.8	3	1	1.6
		木之庄中継ポンプ場	分流	φ150 1.6	3	1	3.2	φ150 1.6	3	1	3.2	φ150 2.4 φ200 4.8 φ200 4.8	2 1 1		9.6
松永	本郷川中継ポンプ場	分流	φ100 1.3	3	1	2.6	φ100 1.3	3	1	2.6	φ100 1.1	2	1	1.1	
雨水ポンプ場	芦田川	手城ポンプ場	分流	φ2,000 546.0	2		1,092.0	φ2,000 546.0	2		1,092.0	φ2,000 546.0	2		1,092.0
		松浜ポンプ場	分流	φ3,000 185.0	5		925.0	φ3,000 185.0	5		925.0	φ3,000 185.0	4		740.0
		一ツ樋ポンプ場 (※は将来廃止)	分流	φ1,200 255.0 φ1,500 395.0 φ500 36.0	2 1 1		941.0	φ1,200 255.0 φ1,500 395.0 φ500 36.0 ※ φ1,100 — ※ φ500 —	2 1 1 2 1		941.0	φ1,200 197.0 φ1,500 395.0 φ500 36.0 ※ φ1,100 160.0 ※ φ500 30.0	2 — — 2 1		744.0
		箕島ポンプ場	分流	φ1,100 165.0 φ1,000 126.0 φ300 10.2	2 1 1		466.2	φ1,100 165.0 φ1,000 126.0 φ300 10.2	2 1 1		466.2	φ1,100 165.0 φ1,000 126.0 φ300 10.2	— 1 1		136.2
		水呑ポンプ場	分流	φ1,800 438.0 φ1,350 242.0 φ450 25.0	3 1 1		1,581.0	φ1,800 438.0 φ1,350 242.0 φ450 25.0	3 1 1		1,581.0	φ1,800 438.0 φ1,350 242.0 φ450 25.0	3 1 1		1,581.0

区分	処理区	ポンプ場名	排除方式	全体計画			事業計画 (2026年度)			現況 (2023年度末)					
				ポンプ口径(mm) 能力(m³/分)	台数	内予備	揚水能力(m³/分)	ポンプ口径(mm) 能力(m³/分)	台数	内予備	揚水能力(m³/分)	ポンプ口径(mm) 能力(m³/分)	台数	内予備	揚水能力(m³/分)
芦田雨水ポンプ場		大津野ポンプ場 (※は稼働しておらず将来廃止)	分流	φ1,650 461.0	2		1,572.0	φ1,650 461.0	2		1,572.0	φ1,650 461.0	1		1,111.0
				φ1,650 325.0	2			※ φ1,000 -	2			※ φ1,000 -	2		
		中津原ポンプ場	分流	φ900 114.0	2		228.0	φ900 114.0	2		228.0	φ900 114.0	1		114.0
				φ1,650 361.0	2			φ1,000 164.0	2			φ1,650 361.0	2		
		千田ポンプ場	分流	φ1,000 164.0	2		1,050.0	φ1,000 164.0	2		1,050.0	φ1,200 255.0	-		-
				φ1,200 255.0	2			φ500 45.0	2			φ500 45.0	-		
		森脇ポンプ場	分流	φ500 45.0	2		600.0	φ500 45.0	2		600.0	φ2,000 678.0	2		1,812.0
				φ2,000 678.0	2			φ1,800 456.0	1			φ1,800 456.0	1		
		新涯ポンプ場	分流	φ1,800 456.0	1		1,812.0	φ1,800 456.0	1		1,812.0	φ1,200 192.0	1		246.0
				φ1,200 192.0	3			φ700 54.0	1			φ700 54.0	1		
		新市ポンプ場	分流	φ1,200 192.0	3		630.0	φ1,200 192.0	1		246.0	φ1,200 204.0	2		504.0
				φ700 54.0	1			φ900 96.0	1			φ900 96.0	1		
		戸手ポンプ場	分流	φ1,200 204.0	4		912.0	φ1,200 204.0	2		504.0	φ2,800 160.0	4		320.0
				φ900 96.0	1			φ2,800 160.0	2			φ1,650 360.0	2		
千年ポンプ場	分流	φ2,800 160.0	4		640.0	φ2,800 160.0	2		320.0	φ1,650 360.0	2		720.0		
		φ1,650 360.0	2			φ1,500 275.0	1			φ1,500 275.0	1				
大山ポンプ場	分流	φ1,500 275.0	1		2,075.0	φ1,800 600.0	2		2,075.0	φ2,000 600.0	1		875.0		
		φ1,800 600.0	2			φ2,000 600.0	1			※1 φ400 -	5				
中央ポンプ場	分流	φ2,000 600.0	1		-	※1 φ400 -	3		-	※1 φ400 -	3		-		
		φ600 62.0	2			φ600 62.0	2			φ600 62.0	-				
新浜ポンプ場 (※1 新浜浄化センター閉鎖に伴い 污水ポンプは稼働停止) (※2 新浜ポンプ場更新時に撤去)	雨水	φ1,200 215.0	2		554.0	φ1,200 215.0	2		554.0	φ1,200 215.0	-		-		
		φ900 -	1			※2 φ900 -	1			※2 φ900 93.0	1				
		φ1,000 -	4			※2 φ1,000 -	4			※2 φ1,000 115.0	4				
		φ700 75.0	2			φ700 75.0	2			φ700 75.0	-				
蔵王ポンプ場	分流	φ1,650 447.0	2		1,044.0	φ1,650 447.0	2		1,044.0	φ1,650 451.0	-		-		
		φ700 75.0	2			φ1,650 451.0	2			φ1,650 451.0	-				
松永		柳津ポンプ場	分流	φ1,100 176.0	2		352.0	φ1,100 176.0	2		352.0	φ1,100 176.0	2		352.0
				φ1,000 185.0	2			φ1,000 185.0	2			※ φ1,200 200.0	3		
		松永ポンプ場 (※は更新時増強)	分流	φ1,200 255.0	3		1,215.0	φ1,200 255.0	3		1,215.0	φ800 80.0	1		680.0
				φ800 80.0	1			φ1,350 204.0	2			φ1,350 204.0	2		
		機織ポンプ場	分流	φ900 96.0	1		528.0	φ900 96.0	1		528.0	φ500 24.0	1		432.0
φ500 24.0	1			φ500 24.0	1			φ500 24.0	1						
相生ポンプ場	分流	φ1,300 27.0	2		54.0	φ1,300 27.0	2		54.0	φ1,300 27.0	2		54.0		

イ 汚水中継ポンプ場

		(合流) 流域関連	(分流) 単独公共	(分流) 流域関連			
名称		新浜ポンプ場	本郷川中継ポンプ場	神島中継ポンプ場	大門中継ポンプ場	坪生中継ポンプ場	
所在地		松浜町三丁目	南今津町	山手町五丁目	大門町五丁目	坪生町四丁目	
運転開始年月		1959年6月	2003年4月	1990年8月	2001年4月	2006年4月	
事業計画 ※1 敷地面積 (a)		25.0	4.2	4.6	8.8	3.0	
計画流入汚水量	時間最大 (m ³ /日)	-	3,430	14,880	5,140	5,900	
	計画処理面積 (ha)	806 (104ha : 合流雨水)	117.4	503.5	324.3	173.5	
現況 ポンプ	汚水	口径 (mm)	※2 φ 400 ※2 φ 400	φ 100	φ 250 φ 250	φ 200 φ 300	φ 150
		能力	- -	1.1 m ³ /分	2.5 m ³ /分 9.4 m ³ /分	5.5 m ³ /分 10.5 m ³ /分	2.8 m ³ /分
	水	kW	- -	11 kW	22 kW 37 kW	55 kW 75 kW	30 kW
		2023年度末台数	5 3	2 ※3 (1)	2 2 ※3 (1)	1 1 ※3 (1)	2 ※3 (1)
能力 雨水	雨水	口径 (mm)	φ 900 φ 1,000				
		能力	93.0 m ³ /分 115.0 m ³ /分				
	水	PS					
		2023年度末台数	1 4				
脱臭方式		土壌法	土壌法	土壌法	土壌法	土壌法	

※1 敷地面積 (a) は、都市計画決定の敷地面積 ※3 うち予備ポンプ台数

※2 新浜浄化センター閉鎖に伴い汚水ポンプは稼働停止

		(分 流) 流域関連					
名 称		相方污水中継ポンプ場	瀬戸中継ポンプ場	明王台第1中継ポンプ場	明王台第2中継ポンプ場	木之庄中継ポンプ場	
所 在 地		新市町大字相方	瀬戸町字目貫堂	明王台二丁目	明王台四丁目	西町三丁目	
運 転 開 始 年 月		-	-	1986年12月	1986年12月	1973年4月	
事 業 計 画 ※1 敷地面積 (a)		5.2	8.3	1.7	2.4	2.5	
計 画 流 入 汚 水 量	時間最大 (m ³ /日)	1,690	3,450	670	1,090	4,220	
	計画処理面積 (ha)	85.1	157.1	14.4	23.4	107	
現 況 ポ ン プ	汚 水	口径 (mm)	-	-	φ 65	φ 80	φ 150 φ 200 φ 200
		能 力	-	-	0.4 m ³ /分	0.8 m ³ /分	2.4 m ³ /分 4.8 m ³ /分 4.8 m ³ /分
	水	kW	-	-	7.5 kW	18.5 kW	7.5 kW 11 kW 11 kW
		2023年度末台数	-	-	3 ※2 (1)	3 ※2 (1)	2 1 1 ※2 (1)
能 力 水	雨	口径 (mm)					
		能力					
		PS					
		2023年度末台数					
脱 臭 方 式		-	-	-	-	-	

※1 敷地面積 (a) は、都市計画決定の敷地面積 ※2 うち予備ポンプ台数

ウ 雨水ポンプ場

名 称	中央ポンプ場	大山ポンプ場	手城ポンプ場	松浜ポンプ場	一ツ樋ポンプ場	
所在地	東川口町一丁目	入船町三丁目	東手城町二丁目	松浜町三丁目	東川口町一丁目	
供用開始年月	2011年4月	1973年4月	1988年11月	1983年4月	1968年4月	
事業計画 ※1 敷地面積 (a)	80.0	30.0	14.4	13.7	28.3	
集水面積 (ha)	474	482	231	167	230	
現況排水量 (m^3 /分) ()は全体計画	875.0 (2075.0)	720.0 (720.0)	1092.0 (1092.0)	740.0 (925.0)	744.0 (941.0)	
現 況 ポ ン プ 能 力	口 径 (mm)	ϕ 1,500 ϕ 2,000	ϕ 1,600	ϕ 2,000	ϕ 3,000 ※2 ϕ 1,100 ※2 ϕ 500	
	揚水能力 (m^3 /分)	275.0 600.0	360.0	546.0	185.0 ※2 197.0 ※2 160.0 ※2 30.0	
	型 式	立軸斜流ポンプ	立軸軸流ポンプ	立軸斜流ポンプ	スクリーンポンプ	立軸斜流ポンプ 横軸軸流ポンプ
	動 力	ガスタービン駆動	ディーゼルエンジン駆動	ディーゼルエンジン駆動	ディーゼルエンジン駆動	ディーゼルエンジン駆動 モーター駆動
	2023年度末台数	1 1	2	2	4	2 2 1
放流先	福山港	福山港	福山港	福山港	福山港	

※1 敷地面積 (a) は、都市計画決定の敷地面積

※2 将来廃止

名 称	箕島ポンプ場	水呑ポンプ場	大津野ポンプ場	中津原ポンプ場	千田ポンプ場	
所在地	箕島町字飛地	水呑町三新田二丁目	大門町五丁目	御幸町大字中津原	御幸町字坂田渡	
供用開始年月	1967年4月	1975年4月	1985年11月	2008年9月	1990年3月	
事業計画 ※1 敷地面積 (a)	13.9	46.7	188.5	7.1	47.4	
集水面積 (ha)	81	506	525	32	520	
現況排水量 (m^3 /分) ()は全体計画	136.2 (466.2)	1581.0 (1581.0)	1111.0 (1572.0)	114.0 (228.0)	722.0 (1050.0)	
現 況 ポ ン プ 能 力	口 径 (mm)	ϕ 1,000 ϕ 300	ϕ 1,800 ϕ 1,350 ϕ 450	ϕ 1,650 ϕ 1,650 ※2 ϕ 1,000 ※2 ϕ 600	ϕ 900	ϕ 1,650
	揚水能力 (m^3 /分)	126.0 10.2	438.0 242.0 25.0	461.0 325.0 - -	114.0	361.0
	型 式	立軸軸流ポンプ 水中ポンプ	立軸斜流ポンプ	立軸斜流ポンプ	立軸斜流ポンプ	立軸斜流ポンプ
	動 力	モーター駆動	ディーゼルエンジン駆動 モーター駆動	ディーゼルエンジン駆動	ディーゼルエンジン駆動	ディーゼルエンジン駆動
	2023年度末台数	1 1	3 1 1	1 2 2 1	1	2
放流先	福山港	水呑川	福山港	高屋川	高屋川	

※1 敷地面積 (a) は、都市計画決定の敷地面積

※2 稼働しておらず将来廃止

名 称	森脇ポンプ場	新涯ポンプ場	新市ポンプ場	戸手ポンプ場	千年ポンプ場	
所在地	御幸町大字森脇	新涯町四丁目	新市町大字新市	新市町大字戸手	沼隈町草深	
供用開始年月	-	1985年4月	1993年5月	1987年4月	1977年4月	
事業計画 ※1 敷地面積 (a)	17.0	13.0	35.8	41.8	22.4	
集水面積 (ha)	138	464	105	198	135	
現況排水量 ($\text{m}^3/\text{分}$) ()は全体計画	0.0 (600.0)	1812.0 (1812.0)	246.0 (630.0)	504.0 (912.0)	320.0 (640.0)	
現 況 ポ ン プ 能 力	口 径 (mm)	-	ϕ 2,000 ϕ 1,800	ϕ 1,200 ϕ 700	ϕ 1,200 ϕ 900	ϕ 2,800
	揚水能力 ($\text{m}^3/\text{分}$)	-	678.0 456.0	192.0 54.0	204.0 96.0	160.0
	型 式	-	立軸斜流ポンプ	立軸斜流ポンプ	立軸斜流ポンプ	スクリーポンプ
	動 力	-	ガスタービン駆動 ディーゼルエンジン駆動	ディーゼルエンジン駆動	ディーゼルエンジン駆動	ディーゼルエンジン駆動
	2023年度末台数	-	2 1	1 1	2 1	2
放流先	芦田川	福山港	芦田川	芦田川	千年港	

※1 敷地面積 (a) は、都市計画決定の敷地面積

名 称	蔵王ポンプ場	柳津ポンプ場	松永ポンプ場	機織ポンプ場	相生ポンプ場	
所在地	明神町二丁目	柳津町三丁目	松永町五丁目	南松永町三丁目	柳津町一丁目	
供用開始年月	-	1994年3月	1977年10月	2002年4月	1989年6月	
事業計画 ※1 敷地面積 (a)	48.3	13.4	22.9	19.3	1.8	
集水面積 (ha)	213	68	238	108	8	
現況排水量 (m^3 /分) ()は全体計画	0.0 (1044.0)	352.0 (352.0)	680.0 (1215.0)	432.0 (528.0)	54.0 (54.0)	
現況ポンプ能力	口径 (mm)	-	φ 1,100	※2 φ 1,200 φ 800	φ 1,350 φ 500	φ 1,300
	揚水能力 (m^3 /分)	-	176.0	200.0 80.0	204.0 24.0	27.0
	型式	-	立軸斜流ポンプ	立軸斜流ポンプ	立軸斜流ポンプ	スクリーポンプ
	動力	-	ディーゼルエンジン駆動	ディーゼルエンジン駆動 モーター駆動	ガスタービン駆動 モーター駆動	モーター駆動
	2023年度末台数	-	2	3 1	2 1	2
放流先	手城川	松永湾	松永湾	松永湾	松永湾	

※1 敷地面積 (a) は、都市計画決定の敷地面積

※2 更新時増強

(4) 汚水関連施設一覧

2024年(令和6年)4月1日現在

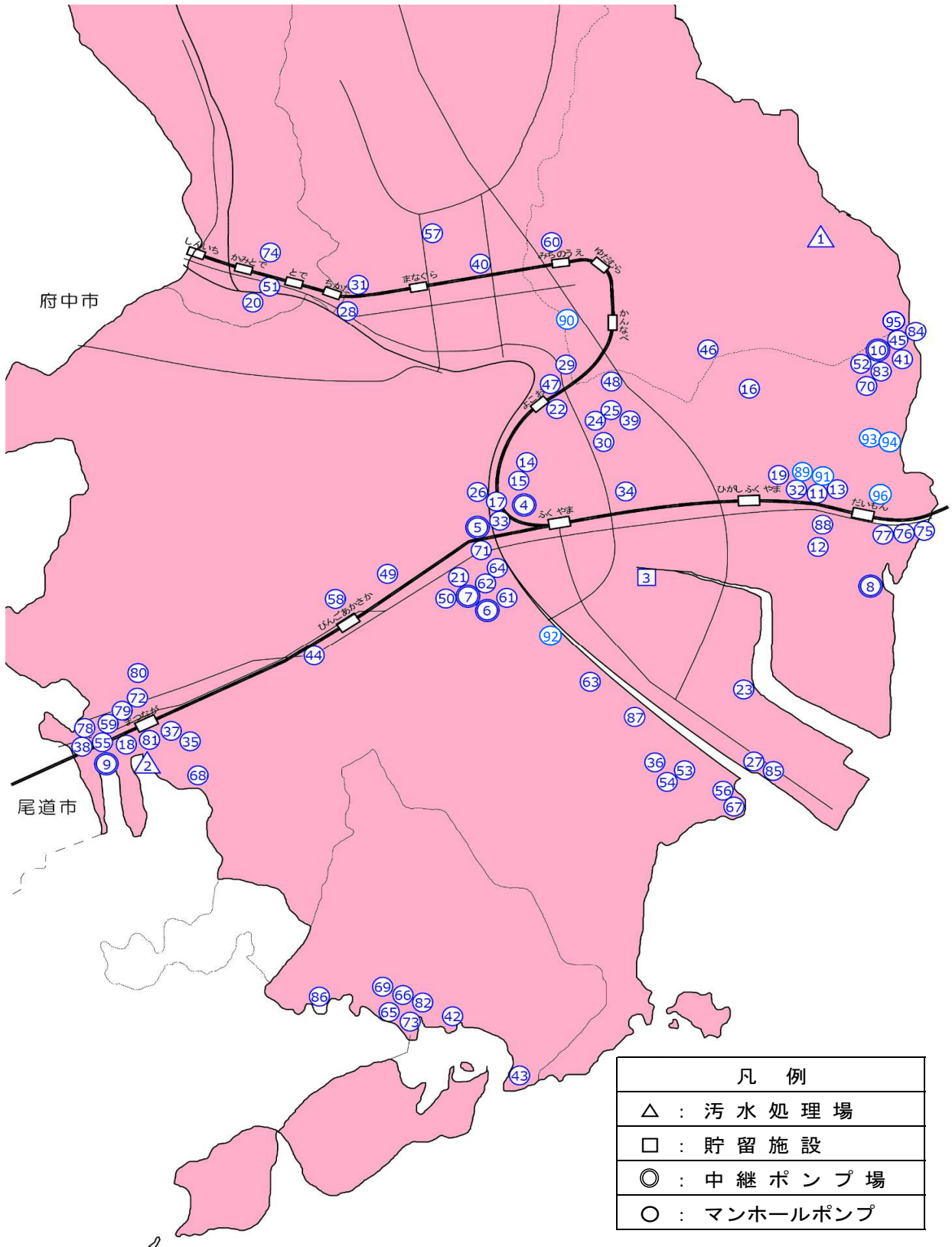
	施設名	住所	供用開始年月
(汚水処理場)			
1	神辺工業団地汚水処理施設	神辺町旭丘20番地	1991年4月
2	松永浄化センター	柳津町一丁目10番1号	1992年4月
(貯留施設)			
3	中央雨水滞水池	東川口町一丁目1番1号	2014年4月
(中継ポンプ場)			
4	木之庄中継ポンプ場	西町三丁目27番3号	1971年8月
5	神島中継ポンプ場	山手町五丁目35番8号	1990年9月
6	明王台第1中継ポンプ場	明王台二丁目17番3号	1996年4月
7	明王台第2中継ポンプ場	明王台四丁目12番17号	1996年4月
8	大門中継ポンプ場	大門町五丁目5番50号	2001年4月
9	本郷川中継ポンプ場	南今津町162番地	2003年4月
10	坪生中継ポンプ場	坪生町四丁目3番45号	2006年4月
(マンホールポンプ)			
11	伊勢丘第1ポンプ場	伊勢丘四丁目8番	1966年度
12	明見ポンプ場	引野町南一丁目11番1号	1974年度
13	鳳第3ポンプ場	伊勢丘八丁目5番	1976年度
14	城北第1ポンプ場	久松台二丁目34番	1978年6月
15	城北第2ポンプ場	久松台二丁目地内	1978年6月
16	宇山ポンプ場	春日町宇山127	1990年5月
17	北本庄マンホールポンプ	北本庄五丁目地内	1995年4月
18	今津島マンホールポンプ	松永町三丁目地内	1995年7月
19	引野北マンホールポンプ	引野町北三丁目地内	1995年12月
20	相方マンホールポンプ	新市町大字相方258番2	1996年4月
21	明王台補助ポンプ場	明王台四丁目13番	1996年4月
22	横尾駅前マンホールポンプ	横尾町一丁目地内	1998年7月
23	福山港南マンホールポンプ	新涯町二丁目地内	1998年7月
24	千田北第1マンホールポンプ	千田町三丁目地内	1999年9月
25	千田北第2マンホールポンプ	千田町三丁目地内	1999年9月
26	山手マンホールポンプ	山手町七丁目地内	1999年9月
27	箕島第1マンホールポンプ	箕島町地内	2000年12月
28	駅家近田マンホールポンプ	駅家町地内	2001年4月
29	御幸マンホールポンプ	御幸町地内	2001年4月
30	千田南第1マンホールポンプ	千田町二丁目地内	2001年4月
31	駅家中島マンホールポンプ	駅家町地内	2002年4月
32	引野北五丁目マンホールポンプ	引野町北五丁目地内	2002年4月
33	北本庄第2マンホールポンプ	北本庄三丁目地内	2003年8月
34	西深津マンホールポンプ	西深津町五丁目地内	2004年3月

	施設名	住所	供用開始年月
(マンホールポンプ)			
35	神村第1マンホールポンプ	神村町地内	2004年4月
36	水呑向丘第1マンホールポンプ	水呑向丘地内	2004年12月
37	松永町四丁目マンホールポンプ	松永町四丁目地内	2005年4月
38	高西町二丁目マンホールポンプ	高西町二丁目地内	2005年4月
39	千田南第2マンホールポンプ	千田町二丁目地内	2006年2月
40	駅家万能倉マンホールポンプ	駅家町地内	2006年4月
41	坪生第1マンホールポンプ	坪生町四丁目地内	2006年4月
42	沼隈草深第1マンホールポンプ	沼隈町地内	2006年4月
43	沼隈明神マンホールポンプ	沼隈町地内	2006年4月
44	神村第2マンホールポンプ	神村町地内	2006年4月
45	坪生第3マンホールポンプ	坪生町五丁目地内	2007年4月
46	神辺第1マンホールポンプ	神辺町地内	2008年4月
47	御幸第1マンホールポンプ	御幸町地内	2008年4月
48	千田北第3マンホールポンプ	千田町四丁目地内	2008年4月
49	津之郷第1マンホールポンプ	津之郷町地内	2008年4月
50	瀬戸第1マンホールポンプ	瀬戸町大字長和252番地の2	2008年4月
51	戸手第1マンホールポンプ	新市町地内	2008年5月
52	坪生第4マンホールポンプ	坪生町一丁目地内	2009年4月
53	水呑第1マンホールポンプ	水呑町地内	2009年4月
54	水呑第2マンホールポンプ	水呑町地内	2009年8月
55	今津第1マンホールポンプ	今津町地内	2010年6月
56	竹ヶ端第1マンホールポンプ	水呑町地内	2010年7月
57	加茂第1マンホールポンプ	加茂町地内	2011年4月
58	赤坂第1マンホールポンプ	赤坂町地内	2011年4月
59	今津第2マンホールポンプ	今津町地内	2011年4月
60	神辺第2マンホールポンプ	神辺町地内	2012年3月
61	明王台第1マンホールポンプ	明王台三丁目地内	2012年3月
62	明王台第2マンホールポンプ	明王台一丁目地内	2012年3月
63	水呑第3マンホールポンプ	水呑町地内	2012年3月
64	明王台第3マンホールポンプ	明王台一丁目地内	2013年3月
65	沼隈常石第3マンホールポンプ	沼隈町地内	2013年3月
66	沼隈常石第5マンホールポンプ	沼隈町地内	2013年3月
67	竹ヶ端第2マンホールポンプ	水呑町地内	2013年4月
68	柳津マンホールポンプ	柳津町地内	2013年4月
69	沼隈常石第4マンホールポンプ	沼隈町地内	2013年5月
70	坪生第5マンホールポンプ	坪生町南二丁目地内	2014年3月
71	神島マンホールポンプ	神島町地内	2014年3月

	施設名	住所	供用開始年月
(マンホールポンプ)			
72	今津第4マンホールポンプ	今津町地内	2014年3月
73	沼隈常石第9マンホールポンプ	沼隈町地内	2014年6月
74	戸手第2マンホールポンプ	新市町地内	2015年3月
75	大門第1マンホールポンプ	大門町地内	2015年3月
76	大門第2マンホールポンプ	大門町地内	2015年3月
77	大門第3マンホールポンプ	大門町旭地内	2015年3月
78	高西町一丁目マンホールポンプ	高西町一丁目地内	2015年3月
79	今津第3マンホールポンプ	今津町地内	2015年3月
80	今津北マンホールポンプ	今津町地内	2015年3月
81	松永町三丁目マンホールポンプ	松永町三丁目地内	2015年3月
82	沼隈常石第6マンホールポンプ	沼隈町地内	2015年5月
83	坪生第6マンホールポンプ	坪生町一丁目地内	2015年6月
84	坪生第7マンホールポンプ	坪生町六丁目地内	2016年3月
85	箕島第2マンホールポンプ	箕島町地内	2016年3月
86	沼隈常石第2マンホールポンプ	沼隈町地内	2016年3月
87	水呑第4マンホールポンプ	水呑町地内	2017年12月
88	引野マンホールポンプ	引野町地内	2018年3月
89	伊勢丘第2マンホールポンプ	伊勢丘四丁目及び伊勢丘二丁目地内	2019年10月
90	食肉センターマンホールポンプ	御幸町地内	2019年11月
91	伊勢丘第1マンホールポンプ	伊勢丘四丁目地内	2020年4月
92	草戸第1マンホールポンプ	草戸町地内	2020年4月
93	坪生第10マンホールポンプ	坪生町南三丁目地内	2020年4月
94	坪生第11マンホールポンプ	坪生町南三丁目地内	2020年4月
95	坪生第8マンホールポンプ	坪生町及び坪生町六丁目地内	2020年8月
96	大門第4マンホールポンプ	大門町地内	2023年2月

(5) 汚水関連施設位置図

2024年（令和6年）4月1日現在



各番号は、「(4) 汚水関連施設一覧」の番号の施設と一致する。

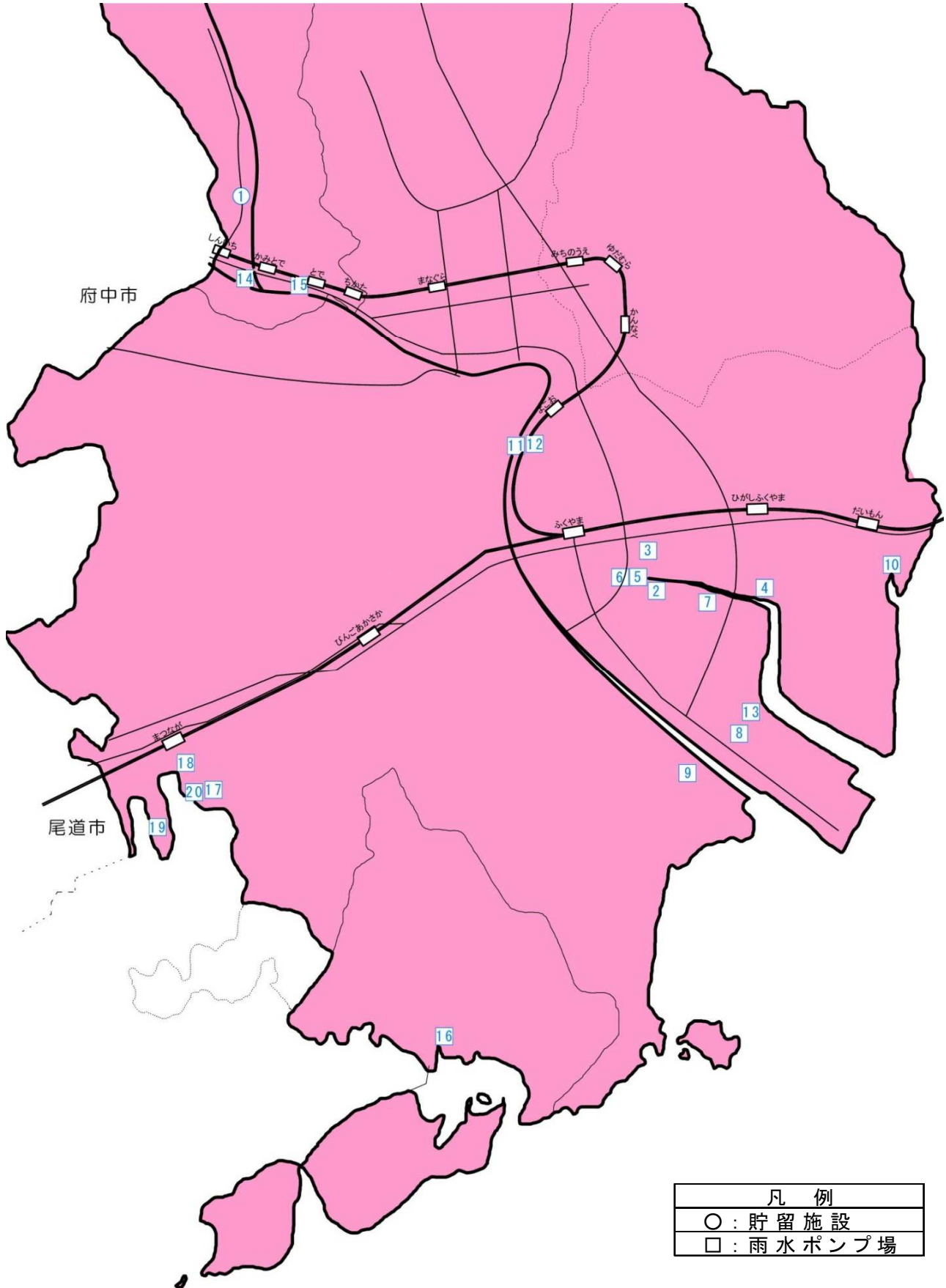
(6) 雨水関連施設一覧

2024年(令和6年)4月1日現在

	施設名	所在地	供用開始年月
(貯留施設)			
1	宮内調整池	新市町大字宮内地内	2011年4月
(雨水ポンプ場)			
2	中央ポンプ場	東川口町一丁目1番1号	2011年4月
3	大山ポンプ場	入船町三丁目4番13号	1973年4月
4	手城ポンプ場	東手城町二丁目16番2号	1988年11月
5	松浜ポンプ場	松浜町三丁目1番52号	1983年4月
6	新浜ポンプ場	松浜町三丁目1番59号	1959年6月
7	一ツ樋ポンプ場	東川口町一丁目5番2号	1968年4月
8	箕島ポンプ場	箕島町字飛地5816番150	1967年4月
9	水呑ポンプ場	水呑町三新田二丁目地内	1975年4月
10	大津野ポンプ場	大門町五丁目13番40号	1985年11月
11	中津原ポンプ場	御幸町大字中津原47番地	2008年9月
12	千田ポンプ場	御幸町大字中津原坂田渡158番2	1990年3月
13	新涯ポンプ場	新涯町四丁目18番23号	1985年4月
14	新市ポンプ場	新市町大字新市291番地	1993年5月
15	戸手ポンプ場	新市町大字戸手1017番1	1987年4月
16	千年ポンプ場	沼隈町草深字新涯2785番280	1977年4月
17	柳津ポンプ場	柳津町三丁目1番55号	1994年3月
18	松永ポンプ場	松永町五丁目4番15号	1977年10月
19	機織ポンプ場	南松永町三丁目6番40号	2002年4月
20	相生ポンプ場	柳津町一丁目10番1号	1989年6月

(7) 雨水関連施設位置図

2024年（令和6年）4月1日現在



各番号は「(6)雨水関連施設一覧」の番号の施設と一致する。

3 業務

(1) 流入水量

(単位：m³)

年度	福山市 公共下水道 計 ①+②	芦田川浄化センター				松永浄化 センター ②
		福山市 公共下水道 ①	服部地区 農業集落 排水施設	府中市	計	
2019	39,361,810	36,932,972	106,539	779,149	37,818,660	2,428,838
2020	41,431,764	38,984,488	103,358	804,794	39,892,640	2,447,276
2021	40,773,619	38,362,124	100,955	818,771	39,281,850	2,411,495
2022	37,593,016	35,227,600	98,395	949,895	36,275,890	2,365,416
2023	39,150,452	36,753,257	94,409	1,136,124	37,983,790	2,397,195
4月	3,317,391	3,110,989	7,720	96,381	3,215,090	206,402
5月	3,608,293	3,404,467	8,218	105,645	3,518,330	203,826
6月	3,439,013	3,241,640	7,764	98,576	3,347,980	197,373
7月	3,711,632	3,502,934	8,317	107,379	3,618,630	208,698
8月	3,309,989	3,113,547	8,249	96,564	3,218,360	196,442
9月	3,140,607	2,953,357	7,744	92,009	3,053,110	187,250
10月	3,216,732	3,021,194	7,962	94,504	3,123,660	195,538
11月	3,046,020	2,854,456	7,562	92,102	2,954,120	191,564
12月	3,171,988	2,966,816	7,972	96,172	3,070,960	205,172
1月	3,027,614	2,827,036	7,905	91,309	2,926,250	200,578
2月	2,913,891	2,721,763	7,178	79,429	2,808,370	192,128
3月	3,247,282	3,035,058	7,818	86,054	3,128,930	212,224
月平均	3,262,537	3,062,771	7,867	94,677	3,165,316	199,766
日平均	106,969	100,419	258	3,104	103,781	6,550
日最大	164,763	157,764	282	4,344	162,390	6,999

晴天時処理水量

日最大	164,763	157,764	282	4,344	162,390	6,999
		5月8日				4月22日
日平均	104,801	98,264	259	3,072	101,594	6,537

雨天時処理水量

日最大	162,826	154,670	280	3,930	158,880	8,156
		6月2日				3月26日
日平均	112,892	106,311	256	3,193	109,760	6,581

(2) 建設改良工事の概況（1件3千万円以上の工事）

ア 公共施設整備事業

工事名	工事費（円）	工事場所	施行内容
千田ポンプ場築造工事 （土木工事）	391,028,156	御幸町	土木工事一式、敷地造成工一式、 本体築造工一式、本体作業土工一式、 構造物撤去工一式、本体仮設工一式
一ツ樋ポンプ場築造工事 （土木工事）	217,793,945	東川口町一丁目及び 新浜町一丁目	土木工事一式、敷地造成工一式、 仮排水路工一式、本体作業土工一式、 本体仮設工一式、本体築造工一式、 放流渠築造工一式、構造物撤去工一式
下水道管渠耐震化工事 （5-1）	146,016,200	駅家町	管渠更生工 口径800mm 延長626.1m マンホール管口耐震化工 8箇所
川南2号幹線下水道築造工事 （5-1）	85,869,300	神辺町	管渠工（推進） 口径350mm 延長131.3m 口径300mm 延長67.0m 口径200mm 延長3.0m 円形2号マンホール工 2箇所 円形1号マンホール工 1箇所 立坑工3箇所、付帯工一式
川南2号及び4号幹線下水道築造工 事（4-2）	83,643,800	神辺町	管渠工（推進） 口径400mm 延長68.6m 口径350mm 延長70.0m 口径250mm 延長83.5m 円形2号マンホール工 2箇所 立坑工 3箇所、付帯工一式
下水道施設長寿命化工事 （5-2）	70,329,600	草戸町五丁目外2か 町	管渠更生工 口径1,000mm 延長191.1m マンホール管口耐震化工 4箇所 マンホール更生工 2箇所
下水道施設長寿命化工事 （5-3）	56,262,800	明治町外6か町	管渠更生工 口径700mm 延長61.6m、口径400mm 延長34.3m 口径350mm 延長93.9m、口径300mm 延長26.2m 口径250mm 延長398.4m マンホール管口耐震化工 41箇所 マンホール更生工 10箇所 取付管口補強工 120箇所 管渠工（開削） 口径250mm 延長49.6m 円形1号マンホール工 4箇所 円形0号マンホール工 1箇所 塩ビ製小型マンホール工 3箇所 取付管工 22箇所 マンホール床版取替工 28箇所 付帯工一式
小口径管推進工事（下水4-1）	47,053,900	鞆町鞆及び鞆町後地	管渠工（推進） 口径250mm 延長113.3m 管渠工（推進） 口径200mm 延長5.0m 管渠工（開削） 口径200mm 延長60.7m 円形2号マンホール工 2箇所 円形1号マンホール工 2箇所 塩ビ製小型マンホール工 6箇所 取付管工（推進） 5箇所 取付管工 12箇所 立坑工 3箇所 付帯工一式
森脇ポンプ場放流渠築造工事	44,000,000	御幸町	推進工 口径2,200mm 延長48.9m 仮設工一式
下水道施設長寿命化工事 （5-4）	39,491,100	光南町一丁目外9か 町	管渠更生工 口径500mm 延長123.9m、口径400mm 延長28.2m 口径350mm 延長30.2m、口径300mm 延長287.2m 口径250mm 延長93.1m マンホール管口耐震化工 41箇所 マンホール更生工 17箇所 取付管口補強工 103箇所 管渠工（開削） 口径250mm 延長27.5m 塩ビ製小型マンホール工 3箇所 取付管工 8箇所 マンホール床版取替工 20箇所 付帯工一式

イ 単独施設整備事業

工事名	工事費(円)	工事場所	施行内容
下水道施設改築工事 (4-33)	217,549,900	箕沖町	管渠工(推進) 口径1,000mm 延長78.4m 口径900mm 延長7.3m 円形4号レジマンホール工 1箇所 円形1号マンホール工 1箇所 立坑工 3箇所、付帯工一式
下水道施設長寿命化工事 (5-6)	154,614,900	住吉町外3か町	管渠更生工 口径400mm 延長149.4m、口径350mm 延長80.4m 口径300mm 延長162.4m、口径250mm 延長482.5m マンホール管口耐震化工 58箇所 マンホール更生工 1箇所 取付管口補強工 184箇所
下水道施設長寿命化工事 (5-3)	110,689,700	明治町外6か町	管渠更生工 口径700mm 延長61.6m、口径400mm 延長34.3m 口径350mm 延長93.9m、口径300mm 延長26.2m 口径250mm 延長398.4m マンホール管口耐震化工 41箇所 マンホール更生工 10箇所 取付管口補強工 120箇所 管渠工(開削) 口径250mm 延長49.6m 円形1号マンホール工 4箇所 円形0号マンホール工 1箇所 塩ビ製小型マンホール工 3箇所 取付管工 22箇所 マンホール床版取替工 28箇所 付帯工一式
下水道施設長寿命化工事 (5-4)	109,704,100	光南町一丁目 外9か町	管渠更生工 口径500mm 延長123.9m、口径400mm 延長28.2m 口径350mm 延長30.2m、口径300mm 延長287.2m 口径250mm 延長93.1m マンホール管口耐震化工 41箇所 マンホール更生工 17箇所 取付管口補強工 103箇所 管渠工(開削) 口径250mm 延長27.5m 塩ビ製小型マンホール工 3箇所 取付管工 8箇所 マンホール床版取替工 20箇所 付帯工一式
下水道施設長寿命化工事 (5-8)	93,967,153	伏見町外7か町	管渠更生工 口径450mm 延長44.0m、口径400mm 延長118.4m 口径350mm 延長55.4m、口径300mm 延長189.8m 口径250mm 延長368.5m、口径200mm 延長11.4m マンホール管口耐震化工 54箇所 マンホール更生工 8箇所 取付管口補強工 215箇所 付帯工一式
千田ポンプ場築造工事 (土木工事)	89,133,114	御幸町	土木工事一式、敷地造成工一式、 本体築造工一式、本体作業土工一式、 構造物撤去工一式、本体仮設工一式
下水道施設長寿命化工事 (5-5)	79,154,900	東桜町外3か町	管渠更生工 口径500mm 延長80.2m、口径300mm 延長11.2m 口径250mm 延長386.0m マンホール管口耐震化工 44箇所 マンホール更生工 8箇所 マンホール床版取替工 4箇所 取付管口補強工 57箇所 付帯工一式
円形管理設工事(流関4-35)	67,806,600	駅家町及び加茂町	管渠工(開削) 口径600mm 延長924.8m 円形2号マンホール工 5箇所 円形1号マンホール工 15箇所 付帯工一式
木之庄中継ポンプ場電気設備取替 工事	59,438,500	西町三丁目	電気設備取替工一式、計装設備取替工一式 非常用発電機移設工一式、鋼製架台取替工一式
下水道施設改築工事(5-16)	37,500,000	曙町三丁目外3か町	管渠更生工 口径1,200mm 延長67.6m、口径1,000mm 延長65.4m 口径800mm 延長53.3m、口径700mm 延長70.5m マンホール管口耐震化工 8箇所
下水道施設改築工事(5-10)	35,140,050	東手城町三丁目	管渠工(推進) 口径300mm 延長235.2m 管渠工(開削) 口径250mm 延長25.1m 管渠工(撤去) 口径250mm 延長31.6m 円形1号マンホール工 5箇所 塩ビ製小型マンホール工 5箇所 立坑工 5箇所 付帯工一式

工事名	工事費(円)	工事場所	施行内容
下水道施設長寿命化工事 (5-2)	32,253,100	草戸町五丁目外2か町	管渠更生工 口径1,000mm 延長191.1m マンホール管口耐震化工 4箇所 マンホール更生工 2箇所
下水道施設長寿命化工事 (4-3)	30,009,276	霞町一丁目及び光南町一丁目	管渠更生工 口径500mm 延長53.6m、口径450mm 延長110.6m、 口径350mm 延長31.9m、口径300mm 延長74.5m、 口径250mm 延長72.8m マンホール管口耐震化工 22箇所 マンホール更生工 10箇所 マンホール床版取替工 9箇所 取付管口補強工 66箇所 付帯工一式

(3) 保存工事の概況(1件5百万円以上の工事)

工事名	工事費(円)	工事場所	施行内容
マンホール周辺修繕工事 (5-2)	16,062,200	加茂町	塩ビ製小型マンホール蓋調整工 10箇所 舗装工 433㎡ 付帯工一式
下水道管渠仮設工事 (福山駅箕沖幹線5-1)	9,374,200	箕沖町	仮設設備設置工 1式
取付管修繕工事 (伊勢丘16号線及び伊勢丘24号線)	9,200,400	伊勢丘七丁目	取付管口補強工 管径150mm 4箇所 管径100mm 25箇所
水呑ポンプ場し渣搬出機修繕工事	8,800,000	水呑町三新田二丁目	コンベヤベルト外取替 一式

(4) 特定事業場数等と立入調査・指導状況

ア 特定事業場数

区分 \ 年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
旧新浜処理区	60	60	61	61	60
松永処理区	14	15	15	15	18
芦田川処理区	177	177	186	189	192
計	251	252	262	265	270

※ 下水道法に基づき、水質基準の順守が特に義務付けられている事業場の数。

イ 規制対象事業場数

区分 \ 年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
旧新浜処理区	3	3	3	4	4
松永処理区	3	2	2	2	2
芦田川処理区	13	11	11	12	12
計	19	16	16	18	18

※ 福山市下水道条例に基づき、除害施設の設置が義務付けられている事業場の数。

ウ 立入事業場数

区分 \ 年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
旧新浜処理区	19	19	16	14	16
松永処理区	3	5	4	3	3
芦田川処理区	57	58	46	61	61
計	79	82	66	78	80

エ 延べ立入調査回数

区分 \ 年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
旧新浜処理区	36	38	32	31	33
松永処理区	7	10	8	7	7
芦田川処理区	145	141	117	137	131
計	188	189	157	175	171

オ 行政指導処分数

区分 \ 年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
行政指導	29	31	18	20	22
口頭指導	8	2	1	2	-
注意指導	11	23	12	10	14
改善勧告	10	6	5	8	8
行政処分	-	-	-	1	-
改善命令	-	-	-	1	-
一時停止命令	-	-	-	-	-
計	29	31	18	21	22

4 松永浄化センター

(1) 計画・運転概要

項目	年度別	全体計画	事業計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
運 転 開 始	1992年(平成4年) 4月1日							
処 理 区 域 面 積 (h a)		689.1	627.2	567	570	570	575	575
処 理 区 域 人 口 (人)		29,290	28,310	26,510	26,552	26,089	26,209	26,153
処 理 能 力 (m ³ /日)		14,800	14,800	7,400	7,400	7,400	7,400	7,400
流 入 水 量 (m ³ /年)				2,428,838	2,447,276	2,411,495	2,365,416	2,397,195
日 最 大 (m ³ /日)				8,173	10,068	9,602	7,855	8,156
日 平 均 (m ³ /日)				6,636	6,705	6,606	6,481	6,550
晴 天 日 最 大 (m ³ /日)				7,047	7,124	7,024	7,026	6,999
揚 水 量 (m ³ /年)				2,477,630	2,500,130	2,465,560	2,416,940	2,475,020
再 利 用 水 量 (m ³ /年)				68,589	46,679	40,078	35,754	49,293
初 沈 汚 泥 引 抜 量 (m ³ /年)				48,311	57,060	45,044	48,270	49,141
余 剰 汚 泥 引 抜 量 (m ³ /年)				64,083	66,820	64,257	63,223	63,726
脱 水 汚 泥 供 給 量 (m ³ /年)				29,317	27,760	29,340	23,073	25,307
脱 水 ケ ー キ 量 (t/年)				2,310	2,130	2,140	1,970	2,046
脱 水 ケ ー キ 含 水 率 (%)				76	74	75	73	74
高 分 子 凝 集 剤 使 用 量 (kg/年)				7,650	8,550	7,800	6,750	6,906
次 亜 塩 素 酸 ナ ト リ ウ ム 使 用 量 (L/年)				35,670	33,160	29,469	30,771	31,732
反 応 槽	M L S S (mg/L)	1,500~2,000	1,500~2,000	1,980	2,056	2,066	2,077	2,057
	M L V S S / M L S S 比 (%)			76.6	75.0	74.0	73.9	75.4
	B O D - S S 負 荷 (kg/SSkg・日)			0.162	0.171	0.156	0.244	0.243
	D O (mg/L)			0.6	0.6	0.5	0.5	0.6
	送 気 倍 率 (倍)			8.4	8.1	8.7	9.7	8.6
	返 送 率 (%)	50~100	50~100	51	50	52	53	51

(2) 運転管理状況

年度別	区分	流入水量(放流) (m ³)				脱水汚泥 (t)				
		総水量	日平均	日最大	日最小	総量	稼働日(日)	日平均	含水率(%)	搬出量
2019		2,428,838	6,636	8,173	5,985	2,254.83	323	6.98	75.9	2,309.85
2020		2,447,276	6,705	10,068	6,113	2,086.00	364	5.73	74.4	2,129.93
2021		2,411,495	6,606	9,602	5,894	2,139.66	365	5.86	74.6	2,188.46
2022		2,365,416	6,481	7,855	5,492	1,969.77	365	5.40	73.0	2,016.93
2023		2,397,195	6,550	8,156	5,825	1,998.45	365	5.48	73.9	2,046.08
	4月	206,402	6,880	8,114	6,346	163.82	29	5.65	72.5	165.83
	5月	203,826	6,575	7,226	6,011	177.85	31	5.74	73.2	184.96
	6月	197,373	6,579	7,712	6,109	161.27	30	5.38	73.5	167.35
	7月	208,698	6,732	7,956	6,196	151.75	31	4.90	72.6	154.01
	8月	196,442	6,337	6,949	5,834	153.54	31	4.95	74.1	159.45
	9月	187,250	6,242	7,085	5,923	152.07	30	5.07	74.8	157.47
	10月	195,538	6,308	6,599	5,825	158.47	31	5.11	72.9	159.64
	11月	191,564	6,385	6,868	6,028	153.53	30	5.12	74.3	156.93
	12月	205,172	6,618	7,122	6,267	186.11	31	6.00	75.6	187.96
	1月	200,578	6,470	6,830	5,826	202.02	31	6.52	75.1	206.46
	2月	192,128	6,625	7,204	6,196	173.86	29	6.00	74.2	180.76
	3月	212,224	6,846	8,156	6,345	164.16	31	5.30	73.6	165.26

(3) 法定検査結果

ア 流入水

		m/n	年平均値	最大値	最小値	
流入水量 (m3/日)		-/24	6,556	6,989	6,148	
一般項目	気温 (°C)	-/24	16.8	32.0	2.0	
	水温 (°C)	-/24	23.0	28.7	17.7	
	透視度 (度)	-/24	6	7	4	
	pH	-/24	7.4	7.5	7.3	
	浮遊物質 (mg/L)	-/24	153	213	116	
	BOD (mg/L)	-/24	211	270	170	
	COD (mg/L)	-/24	137	180	107	
	全窒素 (mg/L)	-/24	34.0	41.7	26.5	
	アンモニア性窒素 (mg/L)	-/23	19.6	22.9	15.1	
	亜硝酸性窒素 (mg/L)	-/24	0.1	0.3	ND	
	硝酸性窒素 (mg/L)	-/24	0.3	0.7	ND	
	有機性窒素 (mg/L)	-/23	14.1	23.6	4.4	
	全りん (mg/L)	-/24	3.8	5.2	2.8	
	りん酸態りん (mg/L)	-/24	2.3	3.0	1.9	
	n-ヘキサン抽出物質 (mg/L)	-/24	27	50	15	
	健康項目	よう素消費量 (mg/L)	-/24	23.7	33.8	11.9
		塩素イオン (mg/L)	-/24	85.0	113	73.3
大腸菌群数 (個/cm3)		-/24	97,000	276,000	18,000	
カドミウム (mg/L)		-/2	ND	ND	ND	
シアン (mg/L)		-/2	ND	ND	ND	
有機りん (mg/L)		-/2	ND	ND	ND	
鉛 (mg/L)	-/2	ND	ND	ND		
六価クロム (mg/L)	-/2	ND	ND	ND		
ひ素 (mg/L)	-/2	ND	ND	ND		

※ 採水場所はポンプ棟である。

※ mは下水道法第8条の規定に基づく放流水の水質基準を超過した検体数、nは全検体数を指し、NDとは検出下限値未満のことである。

		m/n	年平均値	最大値	最小値
健康項目	アルキル水銀 (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	総水銀 (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	ポリ塩化ビフェニル (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	トリクロロエチレン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	テトラクロロエチレン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	ジクロロメタン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	四塩化炭素 (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	1, 2-ジクロロエタン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	1, 1-ジクロロエチレン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	シス-1, 2-ジクロロエチレン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	1, 1, 1-トリクロロエタン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	1, 1, 2-トリクロロエタン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	1, 3-ジクロロプロペン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	チウラム (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	シマジン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	チオベンカルブ (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	ベンゼン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	セレン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	ほう素 (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	ふっ素 (mg/L)	-/2	0.3	0.3	0.2
アンモニア、アンモニウム化合物 亜硝酸化合物及び硝酸化合物 (mg/L)	-/24	19.9	23.1	15.9	
1, 4-ジオキサン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND	
特殊項目	フェノール類 (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	銅 (mg/L)	-/2	0.026	0.028	0.023
	亜鉛 (mg/L)	-/2	0.15	0.23	0.075
	溶解性鉄 (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
	溶解性マンガン (mg/L)	-/2	ND	ND	ND
全クロム (mg/L)	-/2	ND	ND	ND	

イ 放流水

		m/n	年平均値	最大値	最小値	基準値
流入水量 (m ³ /日)		-/24	6,532	6,989	6,148	
一般項目	気温 (°C)	-/24	16.8	32.0	2.0	
	水温 (°C)	-/24	24.8	30.6	19.8	
	透視度 (度)	-/24	92	100	35	
	pH	0/24	7.5	7.8	7.3	5.8~8.6
	浮遊物質 (mg/L)	0/24	3	10	1	40
	BOD (mg/L)	0/24	1.5	5.1	0.6	15
	COD (mg/L)	0/24	13.6	17.6	11.5	30
	全窒素 (mg/L)	0/24	23.7	28.7	18.8	120
	アンモニア性窒素 (mg/L)	-/23	18.0	22.5	10.8	
	亜硝酸性窒素 (mg/L)	-/24	0.3	1.6	ND	
	硝酸性窒素 (mg/L)	-/24	0.1	0.7	ND	
	有機性窒素 (mg/L)	-/23	5.3	10.6	1.3	
	全りん (mg/L)	0/24	0.7	1.3	0.4	16
	りん酸態りん (mg/L)	-/24	0.6	1.5	0.3	
	n-ヘキサン抽出物質 (mg/L)	0/24	ND	5	ND	25
	よう素消費量 (mg/L)	-/24	6.4	10.1	2.3	
	塩素イオン (mg/L)	-/24	84.0	102.0	70.0	
大腸菌群数 (個/cm ³)	0/24	97	520	6	3,000	
健康項目	カドミウム (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.03
	シアン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	1
	有機りん (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	1
	鉛 (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.1
	六価クロム (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.5
	ひ素 (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.1

※ 採水場所は放流口である。

※ mは下水道法第8条の規定に基づく放流水の水質基準を超過した検体数、nは全検体数を指し、NDとは検出下限値未満のことである。

		m/n	年平均値	最大値	最小値	基準値
健康項目	アルキル水銀 (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	検出されないこと
	総水銀 (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.005
	ポリ塩化ビフェニル (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.003
	トリクロロエチレン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.1
	テトラクロロエチレン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.1
	ジクロロメタン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.2
	四塩化炭素 (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.02
	1、2-ジクロロエタン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.04
	1、1-ジクロロエチレン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	1
	シス-1、2-ジクロロエチレン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.4
	1、1、1-トリクロロエタン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	3
	1、1、2-トリクロロエタン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.06
	1、3-ジクロロプロペン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.02
	チウラム (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.06
	シマジン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.03
	チオベンカルブ (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.2
	ベンゼン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.1
	セレン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.1
	ほう素 (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	230
	ふっ素 (mg/L)	0/12	0.2	0.3	ND	15
アンモニア、アンモニウム化合物 亜硝酸化合物及び硝酸化合物 (mg/L)	0/24	7.5	9.0	6.1	100	
1、4-ジオキサン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	0.5	
特殊項目	フェノール類 (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	5
	銅 (mg/L)	0/12	0.005	0.009	ND	3
	亜鉛 (mg/L)	0/12	0.038	0.051	0.025	2
	溶解性鉄 (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	10
	溶解性マンガン (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	10
全クロム (mg/L)	0/12	ND	ND	ND	2	

5 芦田川流域下水道事業

芦田川流域下水道の地域も産業経済の発展に伴い人口は急増し、都市化現象が著しく進むとともに芦田川の水質も汚濁が進んできた。このまま放置すれば地域住民の生活環境は悪化し、住民の健康にも重大な影響を与えるおそれが出てきた。

このため国の施策である「公害対策基本法」が施行されるにあたり、広島県でも芦田川流域の水質環境の保全を図るため、工場や事業所など企業からの排水は、「水質汚濁防止法」により水質を規制することとし、一方、家庭排水などは「下水道法」によって、芦田川を美しく、きれいに保全するための芦田川流域下水道整備計画を策定し、広島県と関係市が共同して整備計画を実施している。

また、芦田川浄化センターでは自治体間を超えた共同処理として、広島県、福山市及び尾道市の3事業者で汚泥固形燃料化事業を実施しており、2017年（平成29年）1月から供用を開始している。

(1) 整備計画概要及び実績

事業主体	広島県	
関係市	福山市・府中市（2市）	
管渠延長	芦田川幹線	25 km
	沼隈幹線	14 km
浄化センター （1か所）	所在地	福山市箕沖町106番地 芦田川浄化センター
	処理方式	標準活性汚泥法＋急速砂ろ過法
	排除方式	分流式
	運転開始	1984年10月1日
中継ポンプ場	1か所（新浜中継ポンプ場）	
事業計画年度	1974年度（昭和49年度）～2026年度（令和8年度）	
総事業費	1,192億円	

	事業計画	実績 (2023年度末)
処理人口	364,570 人	334,398 人
処理面積	8,529.6 ha	7,272.9 ha
処理能力	201,600 m ³ /日	190,400 m ³ /日

(2) 事業計画等の経過

都市計画決定	下水道法可 事業認可	都市計画法可 事業認可	主な変更等内容
(当初計画) 1974年12月24日	(当初計画) 1975年2月13日	(当初計画) 1975年3月3日	
(第1回変更) 1978年11月10日	(第1回変更) 1978年12月11日	(第1回変更) 1979年2月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・処理分区の変更 ・芦田川幹線の位置変更 ・新浜中継ポンプ場の配置変更 ・処理場の構造・配置変更
(第2回変更) 1984年7月30日	(第2回変更) 1984年8月31日	(第2回変更) 1984年9月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・認可区域の縮小 ・芦田川幹線の変更 ・加茂幹線の廃止 ・接続点の追加 ・新浜中継ポンプ場の変更，駅家中継ポンプ場の廃止 ・処理能力の縮小
			<ul style="list-style-type: none"> ・芦田川浄化センター一部供用開始 (1984年10月)
		(第3回変更) 1987年6月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・認可区域の拡大 ・事業期間の延伸
(第3回変更) 1989年3月2日	(第3回変更) 1989年3月29日	(第4回変更) 1989年4月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・認可区域の拡大 ・芦田川幹線の変更 ・処理場の変更 ・事業期間の延伸
(第4回変更) 1991年9月30日	(第4回変更) 1991年10月24日		<ul style="list-style-type: none"> ・認可区域の拡大 ・処理分区の変更 ・芦田川幹線の管径変更 ・処理場の変更
	(第5回変更) 1993年3月22日		<ul style="list-style-type: none"> ・認可区域の拡大
	(第6回変更) 1994年4月21日		<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ場の変更
(第5回変更) 1995年12月18日			<ul style="list-style-type: none"> ・沼隈町及び福山市の一部の追加 ・沼隈幹線の追加
	(第7回変更) 1996年2月22日	(第5回変更) 1996年3月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・期間の延伸
	(第8回変更) 1996年3月29日	(第6回変更) 1996年4月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・認可区域の拡大 ・処理分区の変更 ・沼隈町の編入 ・沼隈幹線の追加
(第6回変更) 1997年8月11日	(第9回変更) 1997年12月11日	(第7回変更) 1997年12月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・沼隈幹線の一部ルート変更 ・処理分区の分割 ・水処理施設の寸法変更
	(第10回変更) 1999年2月15日	(第8回変更) 1999年3月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・認可区域の拡大 ・事業期間の延伸
	(第11回変更) 2000年7月14日	(第9回変更) 2000年7月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・認可区域の拡大 ・事業期間の延伸
	(第12回変更) 2002年3月29日		<ul style="list-style-type: none"> ・認可区域の拡大
	(第13回変更) 2004年9月3日	(第10回変更) 2004年12月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画の見直し ・認可区域の拡大 ・処理場の変更 ・事業期間の延伸
(第7回変更) 2006年8月7日	(第14回変更) 2006年6月8日	(第11回変更) 2006年6月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・処理場敷地面積の変更 ・汚泥脱水機の機種変更
	(第15回変更) 2007年3月5日	(第12回変更) 2007年3月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・認可区域の拡大 ・処理場の変更 ・事業期間の延伸
	(第16回変更) 2011年11月28日	(第13回変更) 2012年1月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画の見直し ・認可区域の拡大 ・事業期間の延伸
	(第17回変更) 2012年9月6日		<ul style="list-style-type: none"> ・汚泥固形燃料化施設の追加
	(第18回変更) 2018年2月7日	(第14回変更) 2018年2月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画区域の拡大 ・事業期間の延伸 ・急速ろ過池の処理方式変更 ・汚泥固形燃料化施設能力の変更 ・下水道法改正に伴う様式1～3の追加
	(第19回変更) 2021年12月27日	(第15回変更) 2022年3月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・事業期間の延伸 ・事業計画区域の拡大 ・事業計画汚水量の変更 ・汚泥脱水機の能力変更

6 合流式下水道改善事業

福山市では、市の中心部578haで雨水と汚水を同一の管渠で排除する合流式下水道を採用している。合流式下水道は、古くから下水道事業に着手している都市を中心に採用されてきた。

しかし、都市化の進展により雨水流出量が増大し、少量の降雨でもたびたび浸水被害が発生するようになったことに加え、降雨時に処理場の処理能力を上回る下水量になった際、下水の一部が未処理のまま放流され、公共用水域の水質などに影響を与えることがあった。

そこで本市は、早急に浸水被害の軽減と公共用水域の水質保全を図るために1995年度（平成7年度）から合流式下水道改善事業に着手し、増補管とその流末に雨水ポンプ場を整備し、さらに公共用水域への汚濁負荷を軽減するための中央雨水滞水池を建設するなど、市民が安心・安全に暮らせるまちづくりの実現に向けた取組を行っている。

○全体計画及び実績

	全 体 計 画	実 績 (2023年度末)
排 水 区 域	578ha	
事 業 開 始	1995年度～	
増 補 管	φ900mm～φ4,500mm L=7,680m	φ2,800mm～φ4,500mm L=5,592m
ポ ン プ 施 設	φ2,000mm 3台 φ1,500mm 1台	φ2,000mm 1台 ※1 φ1,500mm 1台 ※1
雨 水 滞 水 池	8,000m ³	8,000m ³ ※2
高 速 ろ 過 施 設	78,890m ³ /日	78,890m ³ /日 ※2
敷 地 面 積	8,243m ²	8,243m ²
総 事 業 費	約250億円	約184億円

※1 2011年（平成23年）4月供用開始

※2 2014年（平成26年）4月供用開始

○合流改善計画と達成状況

合流改善目標	指標	改善前	目標	2023年度 達成状況
①汚濁負荷の削減 分流式下水道並みに年間BOD 総放流負荷量を削減する	年間BOD総 放流負荷量	412.7t/年	220.2t/年	147.9t/年
②公衆衛生上の安全確保 未処理放流回数を対策前より 半減させる	未処理放流回 数	64回	32回	26回
③夾雑物の削減 吐口において夾雑物を極力防止	スクリーンの 設置有無	あり (達成済)	—	—
④総降雨水量10mm～30mm時に吐口 からのBOD平均水質が40mg/L 以下であること	BOD平均放 流水質	40mg/L以上 あり	すべて 40mg/L以下	29.9mg/L

7 浸水対策事業

公共下水道の役割としては大雨による浸水被害を軽減することも重要であり、市民が安心・安全に暮らせるまちづくりのため、時間雨量42mmの降雨により浸水被害が起こり得る市街地において、雨水を排除するポンプ場や水路の整備に取り組んでいる。

これまで、福山市公共下水道事業経営計画※1（計画期間：2013年度（平成25年度）～2017年（平成29年度））に基づいて主要な雨水幹線及びポンプ場の整備に取り組んでおり、現在は、蔵王ポンプ場及び蔵王雨水幹線等の整備に取り組んでいる。

また、「平成30年7月豪雨災害」では、市内において甚大な浸水被害が発生したことから、再度災害の防止に向けた効果的な浸水対策を検討するため、国、県、市及び土地改良区で構成する「福山市域における浸水対策協議会」において、被害発生要因などを分析し、2019年（平成31年）2月にとりまとめた流域毎※2の対策について取り組んできた。

今後も、気候変動による降雨量の増大や水害の激甚化・頻発化が予測されていることから、河川流域全体のあらゆる関係者が協働し、流域全体で水害被害を軽減させる流域治水対策を計画的に推進していく予定である。

※1 福山市公共下水道事業経営計画は、2017年（平成29年）2月に策定した「福山市上下水道事業中長期ビジョン（経営戦略）計画期間：2017年度（平成29年度）～2026年度（令和8年度）」に継承した。

※2 流域毎…芦田川中流域、高屋川・小田川流域、瀬戸川流域、手城川流域、松永地域など

○全体計画及び実績

	全 体 計 画	実 績 (2023年度末)
整 備 区 域	6, 2 2 7. 5 h a	3, 4 4 2. 8 h a
事 業 開 始	1 9 5 2年度～	
整 備 率		5 5. 3 %
対 象 場 所 及 び 路 線		蔵王ポンプ場建設 蔵王雨水幹線建設 等
事 業 費		5, 9 4 1 百万円

※ 対象場所及び路線、事業費は、2023年度（令和5年度）の実績である。

8 下水道地震対策事業

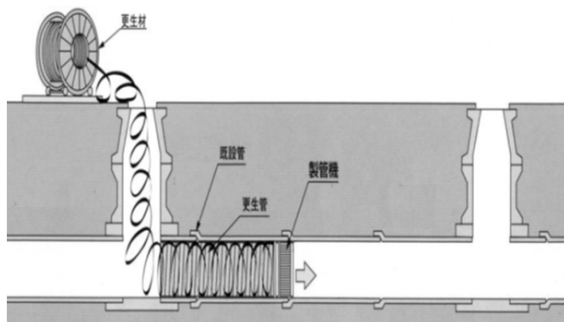
近年、全国各地で大規模地震が発生し、下水道施設に甚大な被害をもたらしている。国においては、1995年（平成7年）に発生した兵庫県南部地震の被害を踏まえ、従来の耐震基準を強化した「下水道施設の耐震対策指針」を1997年（平成9年）に策定した。

本市においても地震による下水道機能の停止によって市民生活や社会活動へ与える影響を最小限に抑えるため、2008年度（平成20年度）に「福山市下水道地震対策緊急整備計画」を、2013年度（平成25年度）には「福山市下水道総合地震対策計画（第1期）」を策定し、下水道施設の耐震化に取り組んできた。また、第1期計画の完了に伴い、引き続き下水道施設の耐震化に取り組むため、2020年度（令和2年度）「福山市下水道総合地震対策計画（第2期）」を策定した。

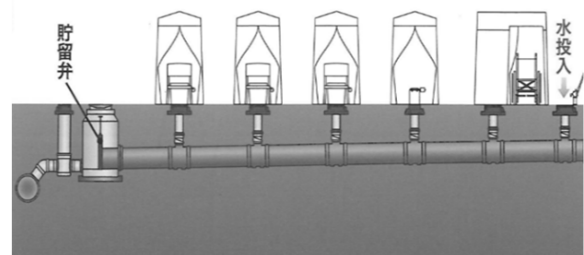
第2期計画は、広域避難場所から流域下水道までの管路施設や軌道・河川を横断する管路施設等の耐震化をはじめ、マンホールトイレの整備や松永浄化センター・戸手ポンプ場・新涯ポンプ場など、施設の耐震補強を行う内容としている。

○下水道総合地震対策計画及び実績

	下水道総合地震対策計画 (第2期)	実 績 (2023年度末)
対 象 場 所 及 び 施 設	防災拠点からの管路施設、軌道・河川 を横断する管路施設等 松永浄化センター 戸手ポンプ場、新涯ポンプ場 外	防災拠点からの管路施設、軌道・河川 を横断する管路施設等 戸手ポンプ場、新涯ポンプ場 外
事 業 期 間	2020年度～2024年度	
耐震化管渠	φ250mm～φ1,800mm L=約5.4km	φ700mm～1,800mm L=2.6km
マンホール トイレ整備	広域避難場所 20基	—
耐震化施設	松永浄化センター 戸手ポンプ場、新涯ポンプ場 松浜ポンプ場、松永ポンプ場 大津野ポンプ場	耐震化工事 (戸手ポンプ場、大津野ポンプ場)
総 事 業 費	約33.7億円	約12.6億円



下水道管渠の耐震化工事のイメージ



マンホールトイレのイメージ

9 下水道長寿命化事業

全国的に下水道管渠の老朽化に起因した道路陥没事故が近年多く発生している。管渠が破損すれば、下水の収集や排除に影響するだけでなく、道路陥没により交通障害なども引き起こすことになる。

本市においては、1952年度（昭和27年度）から下水道事業に着手し、2023年度（令和5年度）末時点の汚水管渠の整備延長は約1,864kmとなっており、その内、約154kmが耐用年数である50年を経過している。

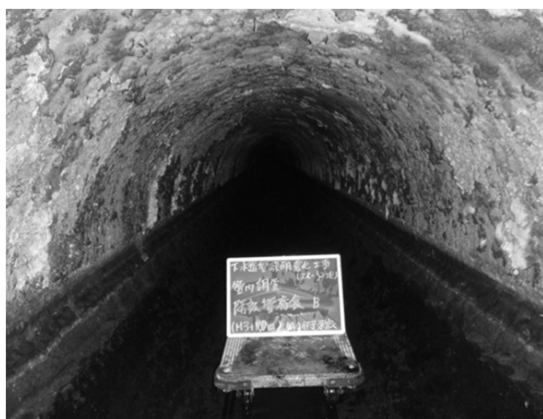
今後、更に老朽管渠が増加することから、管渠破損の未然防止とライフサイクルコストの最小化の観点を踏まえ、耐震化などの機能向上も考慮した「福山市下水道長寿命化計画」（第1期）を2010年度（平成22年度）に策定し、埋設から40年以上経過している旧新浜処理区内の重要度の高い幹線管渠について、劣化度と緊急度を考慮し管渠の更生を行った。

同計画の完了に伴い2013年度（平成25年度）には第2期計画を策定し、緊急輸送道路と主要幹線道路に埋設されている管渠のうち劣化度の高い管渠の更生や、経年劣化したマンホール蓋の取替えを行うなど、継続的な下水道施設の長寿命化に取り組んできた。

また、2019年度（令和元年度）には「福山市公共下水道ストックマネジメント計画」を策定し、長期的な視点による下水道施設全体の老朽化が進む状況を踏まえる中で、リスク評価等による優先順位付けを行い、施設の点検・調査、修繕・改築を一体的に実施し、下水道施設全体を対象とした施設管理の最適化に取り組んでいる。

○公共下水道ストックマネジメント計画及び実績

	公共下水道 ストックマネジメント計画	実 績 (2023年度末)
対 象 場 所	旧新浜処理区	東桜町、三之丸町、昭和町、 霞町四丁目ほか
事 業 期 間	2019年度～2023年度	
対策施設数量	φ150mm～φ1,000mm L＝約10.8km マンホール 146基 マンホール蓋 938箇所	φ150mm～φ1,000mm L＝約7.5km マンホール 85基 マンホール蓋 441箇所
総 事 業 費	約19.9億円	約20.4億円



【施工前】



【施工後】

10 普及促進等

(1) 下水道事業受益者負担金収納

(単位：件、円)

年度	調 定		収 納		未 収		収 納 率	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
2019	7,847	139,870,950	7,543	135,756,050	304	4,114,900	96.13%	97.06%
2020	5,895	67,559,490	5,712	65,650,890	183	1,908,600	96.90%	97.17%
2021	3,854	50,282,640	3,724	48,575,880	130	1,706,760	96.63%	96.61%
2022	4,098	62,613,290	4,020	62,035,220	78	578,070	98.10%	99.08%
2023	3,672	65,050,380	3,601	64,346,780	71	703,600	98.07%	98.92%

※ 調定及び収納は、当該年度のものである。

※ 未収は、不納欠損前の数値である。

受益者負担金の負担区分

新浜負担区	136円/㎡
芦田川負担区	246円/㎡
松永負担区	246円/㎡

(2) 水洗便所改造資金融資あっせん制度の利用状況及び利子補給実行状況

(単位：件(人)、円)

年度	実行件数 (人数)	実行金額	利子補給率	利子補給額
2019	17	10,490,000	1.00%	303,574
2020	5	2,290,000	1.00%	207,192
2021	10	6,431,000	1.00%	148,282
2022	7	4,370,000	1.10%	126,568
2023	3	1,810,000	1.50%	104,501

(3) 私道への公共下水道布設制度の申請状況

(単位：件)

年度	件 数
2019	1
2020	4
2021	12
2022	3
2023	3

11 下水道使用料

(1) 下水道使用料調定

(単位：件、円、税込)

年度	調 定		徴 収 方 法			
	件 数	金 額	口 座		納 付	
			件 数	金 額	件 数	金 額
2019	857,830	6,501,833,792	635,056	5,276,364,106	222,774	1,225,469,686
2020	870,161	6,614,597,245	642,272	5,345,298,809	227,889	1,269,298,436
2021	881,421	6,550,272,969	644,591	5,275,743,046	236,830	1,274,529,923
2022	890,626	6,452,615,132	643,587	5,205,343,671	247,039	1,247,271,461
2023	897,716	6,438,655,848	640,597	5,175,349,453	257,119	1,263,306,395
1期	149,752	1,031,230,416	106,707	825,869,875	43,045	205,360,541
2期	149,155	1,069,326,468	106,796	856,669,935	42,359	212,656,533
3期	149,353	1,096,568,796	106,822	876,461,849	42,531	220,106,947
4期	149,400	1,089,474,142	106,745	882,878,368	42,655	206,595,774
5期	149,167	1,069,623,713	106,804	862,568,027	42,363	207,055,686
6期	150,889	1,082,432,313	106,723	870,901,399	44,166	211,530,914
期平均	149,619	1,073,109,308	106,766	862,558,242	42,853	210,551,066

※ 調定は、当該年度末の数値である。

(2) 下水道使用料収納

(単位：件、円、税込)

年度	調 定		収 納		未 収		収 納 率	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
2019	857,830	6,501,833,792	835,390	6,376,313,710	22,440	125,520,082	97.38%	98.07%
2020	870,161	6,614,597,245	848,157	6,491,264,516	22,004	123,332,729	97.47%	98.14%
2021	881,421	6,550,272,969	859,617	6,437,288,646	21,804	112,984,323	97.53%	98.28%
2022	890,626	6,452,615,132	868,257	6,339,281,353	22,369	113,333,779	97.49%	98.24%
2023	897,716	6,438,655,848	872,409	6,307,909,066	25,307	130,746,782	97.18%	97.97%

※ 調定及び収納は、当該年度のものである。

※ 未収は、不納欠損前の数値である。

(3) 使用料表（1か月、税抜）

用 途	基本使用料	従 量 使 用 料	
		排 除 汚 水 量	使用料 (1m ³ につき)
一般用	790円	10m ³ までの分	20円
		10m ³ を超え15m ³ までの分	147円
		15m ³ を超え20m ³ までの分	187円
		20m ³ を超え30m ³ までの分	228円
		30m ³ を超え250m ³ までの分	261円
		250m ³ を超える分	267円
公衆浴場用	260円	10m ³ までの分	20円
		10m ³ を超える分	46円

12 財務

(1) 決算報告書

ア 収益的収入及び支出

収入

区 分	予		算	
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額に係る財源充当額	
第1款 下水道事業収益	円 12,507,819,000	円 338,000,000	円 0	
第1項 営業収益	8,261,981,000	8,000,000	0	
第2項 営業外収益	4,245,837,000	330,000,000	0	
第3項 特別利益	1,000	0	0	

支出

区 分	予		算		
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予 備 費 額	流 用 増 減 額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額
第1款 下水道事業費用	円 11,468,353,000	円 8,000,000	円 0	円 0	円 0
第1項 営業費用	10,324,177,000	8,000,000	0	0	0
第2項 営業外費用	1,126,175,000	0	0	0	0
第3項 特別損失	8,001,000	0	0	0	0
第4項 予備費	10,000,000	0	0	0	0

イ 資本的収入及び支出

収入

区 分	予			算	
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	小 計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額	
第1款 下水道事業資本的収入	円 12,528,843,000	円 410,000,000	円 12,938,843,000	円 4,619,000,900	
第1項 企業債	7,554,200,000	205,000,000	7,759,200,000	2,733,300,000	
第2項 国庫補助金	4,300,453,000	205,000,000	4,505,453,000	1,775,951,000	
第3項 出資金	502,618,000	0	502,618,000	0	
第4項 補償金及び負担金	171,571,000	0	171,571,000	109,749,900	
第5項 固定資産売却代金	1,000	0	1,000	0	

支出

区 分	予		算			
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予 備 費 額	流 用 増 減 額	小 計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額
第1款 下水道事業資本的支出	円 17,907,499,000	円 410,000,000	円 0	円 0	円 18,317,499,000	円 4,644,800,000
第1項 建設改良費	11,726,879,000	410,000,000	0	0	12,136,879,000	4,644,800,000
第2項 企業債償還金	6,175,582,000	0	0	0	6,175,582,000	0
第3項 国庫補助金返還金	38,000	0	0	0	38,000	0
第4項 予備費	5,000,000	0	0	0	5,000,000	0

資本的収入額（翌年度の支出の財源に充当する額 48,537,266円を除く。）が資本的支出額に不足する額 5,385,139,534円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 533,516,049円、減債積立金取崩し額 1,317,743,745円、過年度分損益勘定留保資金 534,324,180円及び当年度分損益勘定留保資金 2,999,555,560円で補てんした。

額		決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
合 計				
円	円	円	円	
12,845,819,000	12,569,388,049	△ 276,430,951		
8,269,981,000	7,963,243,754	△ 306,737,246	(うち、仮受消費税及び地方消費税 589,949,581円)	
4,575,837,000	4,606,144,295	30,307,295	(うち、仮受消費税及び地方消費税 41,151円)	
1,000	0	△ 1,000	(うち、還付税額 151,176,800円)	

額			決 算 額	地方公営企業法第 26条第2項の規 定による繰越額	不 用 額	備 考
小 計	地方公営企業法第 26条第2項の規 定による繰越額	合 計				
円	円	円	円	円	円	
11,476,353,000	0	11,476,353,000	10,333,974,742	0	1,142,378,258	
10,332,177,000	0	10,332,177,000	9,285,277,976	0	1,046,899,024	(うち、仮払消費税 及び地方消費税 285,956,720円)
1,126,175,000	0	1,126,175,000	1,044,458,942	0	81,716,058	(うち、仮払消費税 及び地方消費税 18,436円)
8,001,000	0	8,001,000	4,237,824	0	3,763,176	(うち、仮払消費税 及び地方消費税 42,250円)
10,000,000	0	10,000,000	0	0	10,000,000	

額		決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
継続費通次繰越額に係る 財源充当額	合 計			
円	円	円	円	
0	17,557,843,900	10,783,904,450	△ 6,773,939,450	
0	10,492,500,000	6,564,800,000	△ 3,927,700,000	
0	6,281,404,000	3,472,197,000	△ 2,809,207,000	
0	502,618,000	502,618,000	0	
0	281,320,900	244,289,450	△ 37,031,450	(うち、仮受消費税及び地方消費税 343,900円)
0	1,000	0	△ 1,000	

額		決 算 額	翌 年 度 繰 越 額		不 用 額	備 考
継続費通次繰越額	合 計		地方公営企業法第 26条の規定によ る繰越額	継続費通次繰越額		
円	円	円	円	円	円	
0	22,962,299,000	16,120,506,718	6,243,700,000	0	6,243,700,000	598,092,282
0	16,781,679,000	9,944,887,027	6,243,700,000	0	6,243,700,000	593,091,973
0	6,175,582,000	6,175,581,973	0	0	0	27
0	38,000	37,718	0	0	0	282
0	5,000,000	0	0	0	0	5,000,000

(2) 比較損益計算書

区 分	2021年度		2022年度		2023年度		対前年度	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	率
事 業 収 益	11,700,954,589	100.0	11,679,223,844	100.0	11,828,933,955	100.0	149,710,111	101.3
営 業 収 益	7,533,867,763	64.4	7,365,424,280	63.1	7,373,294,173	62.3	7,869,893	100.1
下水道使用料	5,955,028,608	50.9	5,866,243,598	50.2	5,853,550,622	49.5	△ 12,692,976	99.8
受託事業収益	66,363,155	0.6	31,756,682	0.3	48,443,551	0.4	16,686,869	152.5
他会計負担金	1,512,016,000	12.9	1,467,044,000	12.6	1,469,870,000	12.4	2,826,000	100.2
その他営業収益	460,000	0.0	380,000	0.0	1,430,000	0.0	1,050,000	376.3
営 業 外 収 益	4,167,086,826	35.6	4,311,882,139	36.9	4,455,639,782	37.7	143,757,643	103.3
受 取 利 息	270,410	0.0	5,917	0.0	123,972	0.0	118,055	2,095.2
他会計負担金	1,955,638,089	16.7	2,112,457,598	18.1	2,232,906,590	18.9	120,448,992	105.7
長期前受金戻入	2,206,374,882	18.9	2,194,435,760	18.8	2,214,945,082	18.7	20,509,322	100.9
雑 収 益	4,803,445	0.0	4,982,864	0.0	7,664,138	0.1	2,681,274	153.8
特 別 利 益	-	-	1,917,425	0.0	-	-	△ 1,917,425	皆減
固定資産売却益	-	-	1,574,372	0.0	-	-	△ 1,574,372	皆減
その他特別利益	-	-	343,053	0.0	-	-	△ 343,053	皆減
事 業 費 用	10,033,901,195	100.0	10,361,480,099	100.0	10,127,036,697	100.0	△ 234,443,402	97.7
営 業 費 用	8,752,759,830	87.2	9,002,365,751	86.9	8,999,321,256	88.9	△ 3,044,495	100.0
管 渠 費	294,208,643	2.9	448,725,261	4.3	364,973,316	3.6	△ 83,751,945	81.3
ポンプ場費	394,868,335	3.9	376,352,824	3.7	346,717,221	3.4	△ 29,635,603	92.1
処理場費	239,411,180	2.4	268,636,320	2.6	266,392,299	2.6	△ 2,244,021	99.2
排水設備費	66,975,376	0.7	59,858,315	0.6	59,022,560	0.6	△ 835,755	98.6
受託事業費	61,491,000	0.6	28,955,000	0.3	44,378,000	0.4	15,423,000	153.3
流域下水道費	1,511,287,273	15.1	1,628,864,835	15.7	1,695,277,071	16.7	66,412,236	104.1
業 務 費	212,840,008	2.1	229,938,983	2.2	238,012,983	2.4	8,074,000	103.5
総 係 費	226,240,393	2.3	228,944,876	2.2	231,633,021	2.3	2,688,145	101.2
減価償却費	5,710,885,783	56.9	5,688,764,814	54.9	5,726,847,256	56.6	38,082,442	100.7
資産減耗費	34,551,839	0.3	43,324,523	0.4	26,067,529	0.3	△ 17,256,994	60.2
営 業 外 費 用	1,272,916,384	12.7	1,171,762,328	11.3	1,123,519,867	11.1	△ 48,242,461	95.9
支払利息及び 企業債取扱諸費	1,222,890,717	12.2	1,105,609,812	10.7	1,044,156,642	10.3	△ 61,453,170	94.4
雑 支 出	50,025,667	0.5	66,152,516	0.6	79,363,225	0.8	13,210,709	120.0
特 別 損 失	8,224,981	0.1	187,352,020	1.8	4,195,574	0.0	△ 183,156,446	2.2
固定資産売却損	-	-	184,255,580	1.8	-	-	△ 184,255,580	皆減
過年度損益修正損	8,224,981	0.1	3,096,440	0.0	4,195,574	0.0	1,099,134	135.5
当 年 度 純 利 益	1,667,053,394	-	1,317,743,745	-	1,701,897,258	-	384,153,513	-

(3) 比較貸借対照表

区 分	2021年度		2022年度		2023年度		対 前 年 度	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	率
固 定 資 産	円	%	円	%	円	%	円	%
	165,217,570,727	98.0	167,370,704,991	96.5	171,930,104,322	96.4	4,559,399,331	102.7
有 形 固 定 資 産	158,661,363,941	94.1	161,161,303,782	92.9	165,959,860,427	93.1	4,798,556,645	103.0
土 地	3,760,184,489	2.2	3,553,628,506	2.1	3,553,628,506	2.0	-	100.0
建 物	2,202,525,221	1.3	2,159,521,535	1.2	2,160,126,115	1.2	604,580	100.0
構 築 物	142,434,215,180	84.5	141,665,778,756	81.7	141,043,027,896	79.1	△ 622,750,860	99.6
機 械 及 び 装 置	6,205,280,867	3.7	6,317,051,662	3.6	6,336,157,435	3.6	19,105,773	100.3
車 両 運 搬 具	6,691,213	0.0	8,035,113	0.0	7,071,495	0.0	△ 963,618	88.0
工 具 器 具 及 び 備 品	47,803,100	0.0	48,017,802	0.0	40,403,916	0.0	△ 7,613,886	84.1
建 設 仮 勘 定	4,004,663,871	2.4	7,409,270,408	4.3	12,819,445,064	7.2	5,410,174,656	173.0
無 形 固 定 資 産	6,543,571,786	3.9	6,196,766,209	3.6	5,957,608,895	3.3	△ 239,157,314	96.1
投 資 そ の 他 の 資 産	12,635,000	0.0	12,635,000	0.0	12,635,000	0.0	-	100.0
流 動 資 産	3,395,618,436	2.0	6,039,546,326	3.5	6,346,192,694	3.6	306,646,368	105.1
現 金 及 び 預 金	2,895,098,090	1.7	5,308,105,841	3.1	5,648,181,985	3.2	340,076,144	106.4
未 収 金	510,850,900	0.3	739,988,851	0.4	704,846,437	0.4	△ 35,142,414	95.3
貸 倒 引 当 金	△ 10,419,554	0.0	△ 8,637,366	0.0	△ 7,932,728	0.0	704,638	91.8
そ の 他 流 動 資 産	89,000	0.0	89,000	0.0	1,097,000	0.0	1,008,000	1,232.6
資 産 合 計	168,613,189,163	100.0	173,410,251,317	100.0	178,276,297,016	100.0	4,866,045,699	102.8

固 定 負 債	70,833,020,386	42.0	70,159,122,043	40.4	70,704,864,739	39.7	545,742,696	100.8
企 業 債	70,573,471,847	41.9	69,870,889,874	40.3	70,382,125,147	39.5	511,235,273	100.7
引 当 金	259,548,539	0.1	288,232,169	0.1	322,739,592	0.2	34,507,423	112.0
流 動 負 債	8,116,822,609	4.8	10,363,060,374	6.0	10,077,853,531	5.6	△ 285,206,843	97.2
企 業 債	6,375,507,799	3.8	6,175,581,973	3.6	6,053,564,727	3.4	△ 122,017,246	98.0
未 払 金	1,693,414,334	1.0	4,130,234,840	2.4	3,957,199,007	2.2	△ 173,035,833	95.8
引 当 金	35,820,452	0.0	36,433,519	0.0	36,885,671	0.0	452,152	101.2
そ の 他 流 動 負 債	12,080,024	0.0	20,810,042	0.0	30,204,126	0.0	9,394,084	145.1
繰 延 収 益	64,727,960,768	38.4	66,091,027,700	38.1	68,492,060,006	38.4	2,401,032,306	103.6
長 期 前 受 金	64,727,960,768	38.4	66,091,027,700	38.1	68,492,060,006	38.4	2,401,032,306	103.6
負 債 合 計	143,677,803,763	85.2	146,613,210,117	84.5	149,274,778,276	83.7	2,661,568,159	101.8

資 本 金	20,204,663,007	12.0	22,634,390,695	13.1	25,015,630,996	14.0	2,381,240,301	110.5
資 本 金	20,204,663,007	12.0	22,634,390,695	13.1	25,015,630,996	14.0	2,381,240,301	110.5
剰 余 金	4,730,722,393	2.8	4,162,650,505	2.4	3,985,887,744	2.3	△ 176,762,761	95.8
資 本 剰 余 金	1,177,991,311	0.7	1,177,853,366	0.7	966,246,741	0.6	△ 211,606,625	82.0
利 益 剰 余 金	3,552,731,082	2.1	2,984,797,139	1.7	3,019,641,003	1.7	34,843,864	101.2
資 本 合 計	24,935,385,400	14.8	26,797,041,200	15.5	29,001,518,740	16.3	2,204,477,540	108.2
負 債 資 本 合 計	168,613,189,163	100.0	173,410,251,317	100.0	178,276,297,016	100.0	4,866,045,699	102.8

有形固定資産減価償却累計	50,829,007,403	-	55,920,932,056	-	61,177,230,167	-	5,256,298,111	-
--------------	----------------	---	----------------	---	-----------------------	---	---------------	---

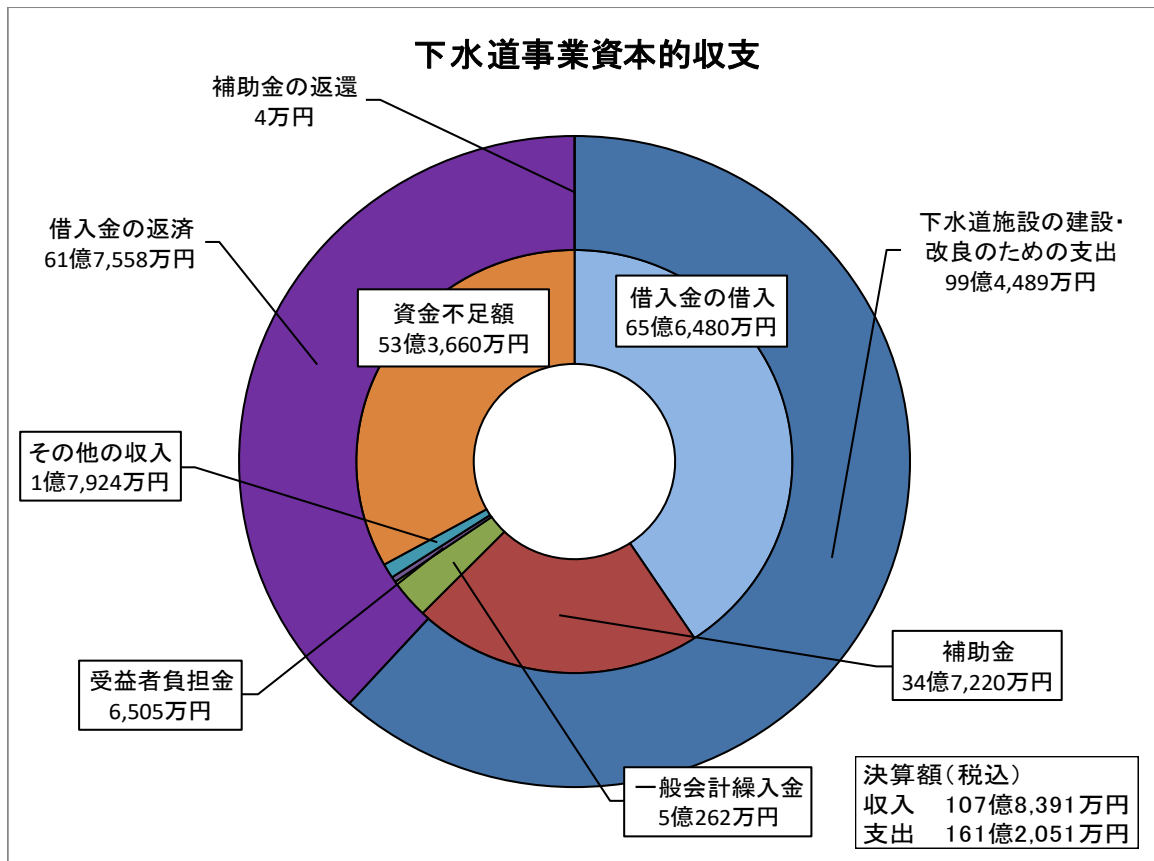
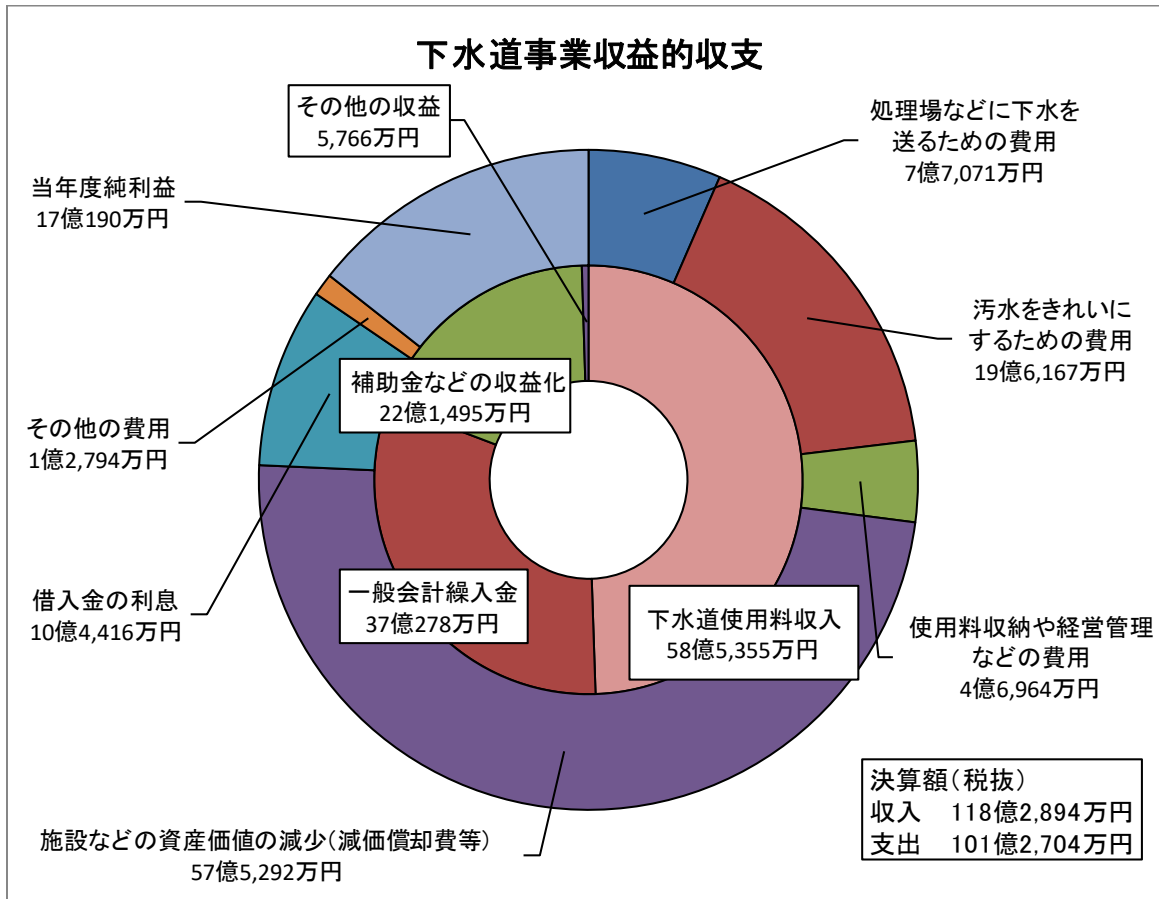
(4) 比較費用構成表

区 分	2021年度		2022年度		2023年度		対前年度	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	率
職 員 給 与 費	千円 356,742	% 3.6	千円 342,923	% 3.3	千円 336,378	% 3.3	千円 △ 6,545	% 98.1
給 料	169,159	1.7	162,005	1.6	160,110	1.6	△ 1,895	98.8
手 当 等	77,059	0.8	74,884	0.7	72,483	0.7	△ 2,401	96.8
賞 与 引 当 金 繰 入 金 額	14,579	0.2	14,690	0.2	14,241	0.1	△ 449	96.9
報 酬	1,468	0.0	1,312	0.0	105	0.0	△ 1,207	8.0
法 定 福 利 費	54,551	0.5	52,364	0.5	49,657	0.5	△ 2,707	94.8
法 定 福 利 費 引 当 金 繰 入 額	2,779	0.0	2,816	0.0	2,670	0.0	△ 146	94.8
退 職 給 付 費	37,147	0.4	34,852	0.3	37,112	0.4	2,260	106.5
動 力 費	59,034	0.6	50,850	0.5	57,787	0.6	6,937	113.6
委 託 料	727,004	7.2	821,229	7.9	791,408	7.8	△ 29,821	96.4
修 繕 費	164,353	1.6	246,645	2.4	160,081	1.6	△ 86,564	64.9
薬 品 費	1,379	0.0	978	0.0	1,683	0.0	705	172.1
流 域 下 水 道 負 担 金	1,511,287	15.1	1,628,865	15.7	1,695,277	16.7	66,412	104.1
減 価 償 却 費	5,710,886	56.9	5,688,765	54.9	5,726,847	56.6	38,082	100.7
支 払 利 息	1,222,891	12.2	1,105,610	10.7	1,044,157	10.3	△ 61,453	94.4
そ の 他 経 常 費 用	272,100	2.7	288,263	2.8	309,223	3.1	20,960	107.3
特 別 損 失	8,225	0.1	187,352	1.8	4,196	0.0	△ 183,156	2.2
合 計	10,033,901	100.0	10,361,480	100.0	10,127,037	100.0	△ 234,443	97.7

(5) 汚水処理原価

区 分	2021年度		2022年度		2023年度		対前年度	
	金 額	1m ³ 当り	金 額	1m ³ 当り	金 額	1m ³ 当り	金 額	1m ³ 当り
職 員 給 与 費	千円 211,950	円/m ³ 5.92	千円 212,613	円/m ³ 6.02	千円 212,235	円/m ³ 6.04	千円 △ 378	円/m ³ 0.02
動 力 費	1,040	0.03	884	0.03	2,910	0.08	2,026	0.05
委 託 料	492,983	13.78	594,305	16.83	540,683	15.39	△ 53,622	△ 1.44
修 繕 費	58,516	1.64	142,125	4.02	101,724	2.90	△ 40,401	△ 1.12
流 域 下 水 道 負 担 金	1,435,918	40.13	1,541,882	43.65	1,519,216	43.25	△ 22,666	△ 0.40
減 価 償 却 費	2,111,658	59.02	2,105,836	59.62	2,109,984	60.07	4,148	0.45
支 払 利 息	518,517	14.49	464,662	13.16	425,063	12.10	△ 39,599	△ 1.06
そ の 他	104,586	2.92	132,406	3.74	132,606	3.78	200	0.04
合 計	4,935,168	137.93	5,194,713	147.07	5,044,421	143.61	△ 150,292	△ 3.46
年 間 有 収 水 量	35,780,280m ³		35,321,734m ³		35,126,344m³		△ 195,390m ³	

(6) 決算収支図



※資本的収入額のおもな収入のうち4,854万円は、翌年度の支出の財源に充当するため、資金不足額は、53億8,514万円となる。

(7) 経営指標

項 目		単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
施 設	負 荷 率	%	71.1	73.3	82.0	80.7	63.6
	施 設 利 用 率	%	60.1	59.9	57.8	54.1	55.8
	最 大 稼 働 率	%	84.5	81.7	70.5	67.1	87.8
	有 収 率	%	90.51	87.05	87.75	93.96	89.72
	有形固定資産減価償却率	%	20.59	22.93	25.20	27.13	29.03
	管 渠 改 善 率	%	0.02	0.09	0.06	0.26	0.22
生 産 性	職 員 1 人 当 た り 処 理 区 域 内 人 口	人	7,390	7,009 (8,344)	7,636 (8,567)	7,782 (8,755)	8,101 (8,932)
	職 員 1 人 当 た り 処 理 水 量	m ³	837,485	828,635 (986,471)	886,383 (994,479)	835,400 (939,825)	910,476 (1,003,858)
健 全 性	固 定 資 産 構 成 比 率	%	98.0	98.0	98.0	96.5	96.4
	自 己 資 本 構 成 比 率	%	49.9	51.6	53.2	53.6	54.7
	固 定 負 債 構 成 比 率	%	45.1	43.6	42.0	40.5	39.7
	経 常 収 支 比 率	%	116.5	118.4	116.7	114.8	116.9
	累 積 欠 損 金 比 率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流 動 比 率	%	40.7	40.6	41.8	58.3	63.0
	固 定 資 産 回 転 率	回	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
	企 業 債 残 高 対 事 業 規 模 比 率	%	1,294.2	1,238.7	1,204.2	1,215.1	1,231.2
	処 理 区 域 内 人 口 1 人 当 た り 企 業 債 現 在 高	万円	24.1	22.9	21.9	21.7	21.9
使 用 料	使 用 料 単 価	円/m ³	168.03	166.61	166.32	165.95	166.49
	汚 水 処 理 原 価	円/m ³	137.70 (168.03)	133.75 (166.61)	137.93 (166.32)	147.07 (165.95)	143.61 (166.49)
	経 費 回 収 率	%	122.0 (100.0)	124.6 (100.0)	120.6 (100.0)	112.8 (100.0)	115.9 (100.0)

※ 金額は税抜である。

算 出 基 礎		説 明	
$\frac{104,770}{164,763}$	$\frac{\text{m}^3}{\text{m}^3}$	日平均処理水量（晴天時） 日最大処理水量（晴天時）	1日最大処理水量（晴天時）に対する1日平均処理水量（晴天時）の割合を示すもので、下水道施設の効率性を表す指標。
$\frac{104,770}{187,696}$	$\frac{\text{m}^3}{\text{m}^3}$	日平均処理水量（晴天時） 処理能力（晴天時）	現在処理能力（晴天時）に対する1日平均処理水量（晴天時）の割合を示すもので、下水道施設の利用状況や適正規模を判断する指標。
$\frac{164,763}{187,696}$	$\frac{\text{m}^3}{\text{m}^3}$	日最大処理水量（晴天時） 処理能力（晴天時）	施設の処理能力に対する1日最大処理水量（晴天時）の割合を示すもので、下水道施設の効率性を表す指標。
$\frac{35,126,344}{39,150,452}$	$\frac{\text{m}^3}{\text{m}^3}$	有収水量 汚水処理水量	処理した汚水のうち使用料徴収の対象となる有収水量の割合を示すもので、有収率が高いほど使用料徴収の対象とできない不明水が少なく、効率的であるということを表す指標。
$\frac{61,177,230}{210,764,016}$	$\frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	有形固定資産減価償却累計額 有形固定資産のうち 償却対象資産の帳簿原価	資産の老朽化度合を示すもので、有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標。
$\frac{4.15}{1,908}$	$\frac{\text{k m}}{\text{k m}}$	改善（更新・改良・維持）管渠延長 下水道布設延長	総延長のうち、当該年度に修繕・改良・更新を行った管渠の割合を示すもので、管渠の改善状況を表す指標。
$\frac{348,335}{\text{※1 } 43 (39)}$	$\frac{\text{人}}{\text{人}}$	現在処理区域内人口 損益勘定所属職員数	損益勘定職員1人当たりの処理区域内人口を示すもので、下水道サービスの生産性を表す指標。
$\frac{39,150,452}{\text{※1 } 43 (39)}$	$\frac{\text{m}^3}{\text{人}}$	汚水処理水量 損益勘定所属職員数	損益勘定職員1人当たりの汚水処理水量を示すもので、下水道サービスの生産性を示す指標。
$\frac{171,930,104}{178,276,297}$	$\frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	固定資産 固定資産＋流動資産＋繰延資産	総資産（固定資産・流動資産・繰延資産）に占める固定資産の割合を示すもので、経営の柔軟性を表す指標。
$\frac{97,493,579}{178,276,297}$	$\frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	資本金＋剰余金＋評価差額等＋ 繰延収益 負債資本合計	総資本（負債・資本）に占める自己資本の割合を示すもので、財務の健全性を表す指標。
$\frac{70,704,865}{178,276,297}$	$\frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	固定負債 負債資本合計	総資本（負債・資本）に占める固定負債の割合を示すもので、財務の健全性を表す指標。
$\frac{11,828,934}{10,122,841}$	$\frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	経常収益 経常費用	経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示すもので、事業の収益性を表す指標。
$\frac{0}{7,324,851}$	$\frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	当年度未処理欠損金 営業収益－受託工事収益	営業収益に対する累積欠損金（営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補填することができず、複数年度にわたって累積した損失のこと）の状況を表す指標。
$\frac{6,346,193}{10,077,853}$	$\frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	流動資産 流動負債	流動負債に対する流動資産の割合を示すもので、短期的な債務に対する支払能力を表す指標。
$\frac{7,324,851}{159,536,047}$	$\frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	営業収益－受託工事収益 期末期首（固定資産－建設仮勘定）÷2	固定資産に対する営業収益の割合を示すもので、固定資産がどの程度経営活動に利用されているかを表す指標。
$\frac{72,088,465}{5,854,981}$	$\frac{\text{千円}}{\text{千円}}$	企業債残高－一般会計負担金 営業収益－受託工事収益－雨水 処理負担金	使用料収入に対する企業債残高の割合を示すもので、企業債残高の規模を表す指標。
$\frac{76,435,690}{348,335}$	$\frac{\text{千円}}{\text{人}}$	企業債残高 処理区域内人口	処理区域内人口1人当たりの企業債現在高を示すもので、過度の負担を将来に先送りしてないかを分析する指標。
$\frac{5,848,302}{35,126,344}$	$\frac{\text{千円}}{\text{m}^3}$	使用料収入 有収水量	有収水量1m ³ 当たりについて、どれだけ下水道使用料を得ているかを表す指標。
$\frac{5,044,421}{35,126,344}$	$\frac{\text{千円}}{\text{m}^3}$	汚水処理費 有収水量	有収水量1m ³ 当たりについて、どれだけ汚水処理費用がかかっているかを表す指標。
$\frac{166.49}{143.61}$	$\frac{\text{円}}{\text{円}}$	使用料単価 汚水処理原価	使用料で回収すべき経費をどの程度使用料で賄えているかを表すもので、使用料水準等が適正かを評価する指標。

※1 2020年度（令和2年度）から、損益勘定所属職員数には短時間勤務職員及び会計年度任用職員を含む。

（ ）内は、短時間勤務職員及び会計年度任用職員を含まない場合の参考値である。

※2 （ ）内は、総務省が示す全国統一的な基準による。